

第七十回帝國議會
衆議院

鐵道敷設法中改正法律案委員會會議錄(速記)第七回

會 議

昭和十二年三月二十日(土曜日)午前十時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 清瀬規矩雄君

理事植村嘉三郎君 理事本田 英作君

理事大本貞太郎君

天辰 正守君

尾崎 天風君

淺川 浩君

片山 一男君

林 路一君

塚本 重藏君

三月十九日委員岡崎憲君辭任ニ付其ノ補闕トシテ塚本重藏君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月二十日委員生方大吉君及大本貞太郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ手代木隆吉君及佐保畢雄君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月十三日理事林讓治君委員辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月二十日大本貞太郎君理事ニ當選セリ

三月十九日橫莊鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府

提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席政府委員左ノ如シ

鐵道次官 喜安健次郎君

鐵道省監督局長 前田 穰君

鐵道省建設局長 河原 直文君

鐵道省工務局長 山田 隆二君

鐵道省經理局長 工藤 義男君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

地方鐵道補助法中改正法律案(政府提出)

橫莊鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

○清瀬委員長 會議ヲ開キマス、諸君ニ御

諮リ致シマスガ、御承知ノ通り理事ノ林讓

治君ガ辭任サレマシタ、ソレデ補闕選舉ヲ

行ハナケレバナラナイノデアリマスガ、先

例ニ依ッテ委員長ガ指名シテ宜シウゴザイ

マセウカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○清瀬委員長 ソレデハ委員大本貞太郎君

ヲ理事ニ指名致シマス、ソレカラ御承知ノ

ヤウニ、橫莊鐵道外三鐵道ノ買收案ガ本委

員會ニ併託サレタノデアリマス、補助法ト

併セテ一括シテ審議ヲ進メタイト思ヒマス

ガ、御異議ゴザイマスマイカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○清瀬委員長 ソレデハ一括シテ審議ヲ進

メルコトニ致シマス、就キマシテハ此併託

サレタ案ノ提出ノ理由ヲ承リタイト思ヒマ

スガ、丁度今日ハ大臣ガドウシテモ差支デ

出ラレナイサウデアリマスノデ、政府委員

ノ方カラ説明サレマスカラ、ドウゾ左様御

諒承ヲ願ヒマス

○前田政府委員 今回提案ニナリマシタ地

方鐵道ノ買收ノ爲公債發行ニ關スル法律

案ニ付キマシテハ、本會議デ大體御説明ガ

致シテアルノデアリマスガ、尙ホ一應御話

申上ゲタイト存ジマス、今回買收セントス

ル鐵道ハ、信濃鐵道、藝備鐵道、北九州鐵

道ノ三ツト、橫莊鐵道ノ一部トゴザイマ

ス、先ヅ橫莊鐵道デゴザイマスガ、本鐵道

ハ國有鐵道ノ羽越本線羽後本莊驛カラ前郷

驛ニ至ル間、及ビ奥羽本線橫手驛カラ老方

驛ニ至ル間ノ地方鐵道デゴザイマス、此鐵

道ノ羽後本莊、前郷間ハ、國有鐵道ノ豫定線

ニ該當シテ居リマスノミナラズ、建設線矢

島線ハ、昭和十年度カラ工事ニ著手シマシ

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)

地方鐵道補助法中改正法律案(政府提出)
橫莊鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道買收ノ爲
公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

テ、十三年度初頭ニ完成スル計畫ニ相成ッテ
居リマス、ソレデ此羽後本莊、前郷間ヲ買收
シ、設備ヲ改善シマシテ、矢島線竣工ノ後、
本區間ヲ介シテ營業スルノ不便ヲ除キタイ
ト思フノデアリマス、第二ノ信濃鐵道ハ、
篠ノ井線松本驛カラ信濃大町驛ニ至ル地方
鐵道デゴザイマス、國有鐵道大糸線ハ、南
北兩方面カラ工事ニ著手シ、昭和十年ニハ
南線ハ中土マデ延長サレ、此鐵道ト大糸線
トノ關係ハ、愈々其緊密ノ度ヲ加ヘマシタノ
ミナラズ、殘區間開業ノ曉ニハ、是ト一體
ヲ爲シ、北陸線ト中央線トヲ連絡スル重要
ナル使命ヲ有スルニ至リマスノデ、今回本
鐵道ヲ買收セントスルノデアリマス、第三ハ
藝備鐵道デゴザイマスルガ、此鐵道ハ山陽
本線廣島驛カラ三神線備後十日市驛ニ至ル
地方鐵道デアリマス、本鐵道ハ昭和十一年
三神線全通ニ依リマシテ、姫新線ト相俟ッ
テ中國縱貫ノ重要ナル使命ヲ有スルニ至ッ
タノデアリマス、ソシテ國有鐵道木次線及
ビ福鹽線ハ昭和十二年度、三江線ハ十四年
度ニ、ソレト竣工スル豫定デアリマスガ、
其曉ニハ此鐵道ハ、是等諸線ト併セテ陰陽

連絡ノ捷徑ヲ爲スコト、ナリマシテ、運輸上一層緊密ナル關係ヲ生ジマスルニ依リ、之ヲ買収セントスルノデアリマス、最後ハ北九州鐵道デゴザイマス、此鐵道ハ鹿兒島本線博多驛カラ伊萬里線伊萬里驛ニ至ル地方鐵道デアリマス、本鐵道ハ國有鐵道ノ豫定線ニ該當シテ居リマスルシ、鹿兒島本線ト唐津線及ビ伊萬里線ヲ連絡スルモノデアリマシテ、博多地方ト唐津、伊萬里、佐世保地方トヲ直接ニ結ブ重要ナル使命ヲ有シマスノデ、今回之ヲ買収シテ運輸ノ系絡ヲ整備スル計畫ヲ樹テタ譯デゴザイマス、尙ホ買収價額ノ問題デゴザイマスルガ、是ハ御承知ノ如ク買収ノ期日ガ決マリマシタ場合ニ、其日ヲ基礎ニシマシテ、最近ノ營業年度末カラ遡ッテ買収價額ヲ計算スルト云フコトニ、法律ノ規定デ相成ッテ居ルノデアリマシテ、買収ノ日ノ決マリマセヌ今日正確ナルコトハ無論申上ガ兼ネルノデゴザイマスガ、從來ノ例ニ依リマシテ、會社ト協定ヲ致シマシタ次第デゴザイマス、尙ホ此機會ニ一寸御斷リヲ致シタイト存ジマスコトハ、五分利附國債證券ノ時價ノ定メ方ニ付テデゴザイマス、五分利附國債證券ハ、昭和十二年度中ニ金融界ノ狀勢ヲ考慮シテ、低利ニ借換ヘラレル場合モアルと思ハ

レマスガ、其時價ヲ定ムルニ付テ困難ヲ來ス懸念ガアリマスカラ、今回ハ昭和十一年度下半年ノ平均相場ニモ依リ得ルコトニ致シタ次第デゴザイマス、此點併セテ御諒承ヲ御願スル次第デゴザイマス、何卒十分御審議ノ上御賛成アラントヲ御願致シマス

○清瀬委員長 通告順ニ依ッテ質問ヲ繼續致シマス——淺川君

○淺川委員 補助法ノ内容ニ付テモ、マダ御聽キシタイトモアリマスカ、ソレハ後ニ保留致シマシテ、只今ノ買収案ニ付テ、唯一線ニ付テ御尋致シマス、此橫莊ト云ヒマスカ、本莊カラ僅カ何軒ノ間ヲ買収ニナッテ、サウシテ前郷カラ矢島ノ方ニ行ク線ハ、所謂國有線トシテ完成ヲナサルト云フ御話、之ヲ橫斷セシムルコトニ付テ御意見ヲ伺ヒマス、東ハ——太平洋方面ハ、釜石ヲ出發地點トシテ橫斷スルノニ、花卷ニ至ルトカ、黑澤尻カラ橫手ニ至ルト云フノハ、少シ喰違線ニナッテ居リヤウデアリマスガ、是ハ秋田、岩手兩縣下ニ跨ル縣道筋デアッテ、交通量ノ殷賑ハ、此橫斷ニ集中シテ居ルト云フ地方ノ人ノ申様デアリマスガ、結局釜石カラ本莊ニ向ッテ橫斷線トシテノ具體化ヲナサル、國有線トシテノ具體化ヲナサ

ル將來ノ御見込ガ付クノデアリマスカ、此點ヲ一ツ御伺致シタイト思ヒマス、ソレカラ最前御話ノ橫手、老方間ト云フノハ既設線デアリマスガ、是ハ民業線デアル、前郷カラ老方間ガ、民業線ノ未設線デアルサウデアリマスガ、將來是モ一貫シタル橫斷線トシテ、具體化スル御考ガアリマスカ、此點ヲ先ヅ御伺シテ見タイト思ヒマス

○河原政府委員 御答致シマス、本莊カラ釜石ノ間、詰リ東北地方ヲ日本海ト太平洋マデ連絡スル設備ト致シマシテハ、鐵道省トシテモ相當考究ヲ致シテ居リマス、併シ只今ノ所デ申シマスルト、之ヲ三ツニ分ケテ考ヘマス、只今問題ニナリマシタ本莊、橫手間ハ私設鐵道デゴザイマス、ソレカラ橫手、黑澤尻ト云フノハ、モウ既ニ出來上ッテ居ル線デゴザイマス、ソレカラ花卷カラ釜石マデノ間ハ、既ニ御協賛ヲ經マシテ、一昨年から工事ニ掛ッテ居ル、此間デ此三區間トモ現在ノ狀況デハ、完成マデニソレゾレ皆異ツタ狀態ニナッテ居リマスノデ、其三ツノ區間ニ付テソレゾレ只今研究致シテ居リマス、橫斷トスル以上ハ、此三ツノ區間ガ同ジヤウナ運輸狀態、輸送狀態ヲ持タナクテハ、最後ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイ、其三線ニ付テ各々現在マデノ營業狀態ト

カ、今後ノ輸送ナドヲ今研究致シテ居リマス、ソレデサウナリマス、喰違ヒトナル所ノ花卷カラ釜石ト云フノヲ、寧ろ花卷ヲ黑澤尻ニ變ヘテヤッタ方ガ短絡線ニモナルシ、適當デヤナイカト云フ御話デゴザイマスガ、ソレモ御尤デゴザイマシテ、是モ一昨年アタリカラ研究致シテ居リマス、何レニ致シテモ只今淺川サンノ御希望ノヤウナ趣意ニ向ヒタイト研究ヲ致シテ居リマス

○淺川委員 一應御意向ハ分リマシタガ、橫手カラ本莊ニ至ル間ノ、前郷、本莊間ヲ今度御買上ニナッテ、前郷、老方間ハマダ未著手線ニアルヤウニ思ヒマスガ、老方、橫手間ハ既設線ト思ヒマス、是モ太平洋ニ向ッテノ御計畫ガ御立チニナル場合ハ、全部ヲ御買上ニナル御見込ガアリマセウカ、其點ヲ一ツ御伺致シマス

○前田政府委員 只今建設局長カラ御答致シマシタ通りニ、橫手、本莊間ヲ政府ガ鐵道ヲ經營スル必要ガアルカドウカト云フコトニ付テハ、只今研究中デゴザイマス、ソコデ前郷、本莊間ヲ今回買収シマスニ付キマシテ、橫手、老方間モ同時ニ買収スベキデアルカ、ドウカト云フ問題ガ起ル譯デアリマスガ、前郷、本莊間ハ先刻モ申上ゲマシタヤウニ、矢島線ノ開通ニ伴ヒマシテ、

中間ニ地方鐵道ヲ挾ムト云フコトガ、非常ニ利用者ニ不便デアルト云フ、特殊ノ事情ガアリマスノデ、前郷、本莊間ハ、是ハ買收スルコトニ何等ノ疑點ト申スカ——ガナイ譯デアリマス、横手、老方間ハ、老方、前郷間ガ全通致シテ居リマスレバ、是亦事情ガ違ヒマスルケレドモ、鐵道ノ形ノ上カラ見マシテモ、横手老方間ハ行止リ線ニナッテ居ル譯デアリマスガ、運輸系絡ト云フヤウナ點カラ申シマスストスレバ、他ノ鐵道モ同ジヤウナ事情ノ所ガ澤山アル譯デアリマス、唯同ジ鐵道會社ニ所屬シテ居ルト云フ點ガ違フダケノヤウナ次第デアリマス、ソレデ問題ニナルヤウナ點ハ、結局老方、前郷間ノ鐵道ヲ敷設スルカシナイカト云フコトノ研究ノ結果ニ俟ツベキデアッテ、

差當リ問題ノナイ前郷、本莊間ノ今回ハ買收シヨウ、サウシテ一方建設計畫ノ方ノ研究ト相俟チマシテ、横手、老方間ノ方ノ鐵道ニ對シテハ善處シテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○淺川委員 能ク御意見ハ分リマシタガ、前郷、院內間ハ豫定線デアリマシテ、矢島、前郷間ハ政府ノ方デ開通サレルノデアリマス、ソレカラ前郷、本莊間ヲ買收スル、ソレハ宜シウゴザイマスガ、前郷カラ南ニ向ッ

テ、矢島間ノ國有線ガ本莊ニ連絡スルト云フヤウナコトニ相成リマス、前郷、老方間ノ民營會社ノ起工計畫ニ、何カ非常ナ迷惑デモ及ボスト云フヤウナ虞ハナイノデアリマセウカ、サウ云フコトハ今ノ御話デ十分御配慮ニナッテ居ルコト、ハ考ヘマスルガ、若シ是ダケノ間ヲ御買上ニナッテ、サウシテ南ノ矢島ニ向ッテ完成ヲ爲サルト云フヤウナ場合ニ、前郷、老方間ノ起工計畫ニ付テ、民業會社ノ方ニ非常ニ齟齬ヲ來スト云フヤウナ憂ハナイノデアリマセウカ、此點ヲ一ツ御伺シテ見タイト思ヒマス

○河原政府委員 前郷、老方間ノ線、詰リ前郷カラ横手ノ方ニ參リマス線ト、前郷カラ矢島ヲ通りマシテ院內ニ參リマス線ハ、計畫モ全然變ッテ居リマスシ、勢力範圍モ異ニ致シテ居リマスカラ、ソレニ依ッテドノ位ノ影響ガアルカト云フコトハ、大シテ兩者ノ間ニ關係ハナイト思ヒマスケレドモ、其點モ今併セテ研究致シテ居リマスルカラ、研究シタ上デ善處シヨウト思ヒマスガ、大シタ影響ハナイト思ッテ居リマス

○淺川委員 モウ一ツ、此地方ノ人々ノ話ヲ聞キマスと云フト、關西カラ積出シテ行ク荷物ガ秋田マデ參リマシテ、ソレカラ横手ニ逆行シテ釜石ニ送ラレテ居ルト云フヤ

ウナコトヲ能ク申シテ居リマスガ、貨物ノ運行上ノコトハ、鐵道ノ方ハ能ク御承知ノ方ガ御指ヒニナッテ居ラレマセウガ、果シテ地方民ノ言フガ如キコトデアリマスレバ、所謂横手、老方間、更ニ進ンデ前郷間ノ私設鐵道ヲ、ドウシテモ國ノ御仕事ニ爲スト云フコトガ、素人眼ニ良イヤウニ思ヒマスルガ、最前カラノ御話デ、損ヲシテ居ル所モ、各方面色々御調中デアルト云フコトデアリマスガ、サウ云フ荷物ノ運搬關係ハ、鐵道カラ御覽ニナッテモ、ソシナ風ニ實際行ッテ居ルノデアリマセウカ、其點モ併セテ一ツ御伺ヲ申シテ、サウシテ結論ハ釜石カラ本莊ニ至ル橫斷線ヲ開通シテ載キタイト云フコトガ、地方民ノ希望デアルヤウデアリマス、貨物ノ運輸狀態ガ、地方民ノ申スヤウニ、羽越本線ヲ通ッテ秋田ニ行ッテ、ソレカラ逆行シテ太平洋ノ方ニ出ルト云フヤウナコトハ、果シテサウデアアルカドウカ、此邊ヲ一寸承ッテ置キタイト思ヒマス

○河原政府委員 只今ノ御質問ハ、只今ノ交通網ノ狀況カラ見マスレバ、或ハサウ云フ風ニナルカト存ジマスルガ、只今申上ゲマシタ研究中ト申シマスルノハ、茲ニ今問題ニナッテ居リマス一ツノ未成線ガ出來上ッ

タ時分ニハ、ドウ云フ風ニ變ハルカ、ソレガ詰リ一番大キナ問題ニナリマスノデ、現在マデノ狀況ハサウデアリマスルガ、今後未成線ガ出來上リマシタラバ、ドウ云フ風ニナルカト云フコト、竝ニ斯ク問題ニナリマシタ線路ノ狀況ナンカガ、非常ニ影響ヲ致ス次第デゴザイマスルカラ、其點ニ付テ考究シテ見タイト思ヒマス

○淺川委員 老方、前郷間ハ、工事計畫デモ立ッテ施行願デモシテ居ルノデアリマスカ、マダソコマデ參ッテナイノデスカ、其邊ヲ……

○前田政府委員 老方、前郷間ハ、工事施行認可ガ致シテアルノデアリマス、是ハモウ餘程前ニ致シテアリマシテ、其後會社ノ財産狀態其他ニ依リマシテ、著手竣功ヲ漸次延期シテ參ッテ居ル譯デアリマス、是ハ見方ニ依リマシテハ、サウ何時マデモ竣功期限ヲ延期スベキモノデハナイ、宜シク失效サセテシマッテモ宜イデヤナイカト云フ議論モアリマセウガ、此鐵道ガ横手、本莊間ヲ貫クト云フコトガ、一ツノ重要ナ使命デアリマス譯ナノデ、今日マデ多少一般ノ例ニハ合ヒマセスケレドモ、長ク期限ノ延長ヲ認メテ參ッテ居ル次第デアリマス

○淺川委員 只今此前郷、本莊間ヲ御買上

ゲ申スコトハ、支障ナク御相談ニ應ジテ居ル次第アリマスカ

○前田政府委員 今回前郷、本莊間ヲ買收スルニ付キマシテ、會社ト協議致シマシタ所ガ、無論會社トシテハ、横手、老方間モ出來得ベクンバ買ッテ欲シイト云フヤウナ意向ガアツノデゴザイマスケレドモ、色々事情ヲ話シマシタ所ガ、ソレデハ鐵道省ノ言フ通りニ、此際前郷、本莊間ダケヲ切離シテ買收ニ應ズルコトニスル、斯ウ云フ風ニ話合ガ出來テ居リマス

○淺川委員 一應是ダケヲ伺ッテ、又外ノ事ハ他ノ時ニ伺フコトニ致シマス

○清瀬委員長 堀内君、御質問ナサイマスカ

○堀内委員 極ク簡單ニ一寸御聞キシマス、一昨日デアリマシタカ、此事ニ付テ御質問申上ゲマシタガ、少シ分ラナイ點ガアツタノデアリマスカ、色々研究致シマシテ大體分ッタノデアリマス、要スルニ今回ノ改正ノ補助法ヲ御施行ニナリマス結果、此計算ノ内容ニ於テ、運輸數量ヲ基礎トシテ御計算ナサルト云フ結果ニナリマス、補助會社ヲ假ニ二百五十會社ト豫定致シマシテ、現ニ其二百五十會社——補助ヲ受ケタノモアリマスカ、又十年間ヲ經過シテ、アト五箇

年ト云フコトニ追加ニナルノデアリマスカラ、此會社ノ數ハ變更モアリマセウガ、其運輸數量ノ内容ハ、一日一軒平均延人廻軒ヲ標準トスル、貨物一廻ハ乘客二人分トシテ計算スルコトニナルノデアリマスカラ、サウシマス、從來ノ鐵道省デ御扱ヒニナッテ居ッタ計算カラ見マスト、二百五十人未滿ノモノハ二十八社アリマス、五百人未滿ノモノハ六十九社アルノデアリマスカ、是ガ三百六十人ト云フ所デ押ヘマスカラ、大體三百六十人延人廻哩ノ其數ノ下ニ入ル會社ハ、大體六十會社デアルト思ヒマス、サウシマス、此六十會社ハ、一番困ル會社デアリマスカ、此六十會社ハ結局四分ノ補助ガ貰ヘナイト云フ結果ニナリマス、其他ノ百九十會社ハ、四分ノ補助ヲ貰ヘル資格ガアルノデアリマスカ、大體六十會社——確定ノ數字デハナイノデアリマセウガ、大體六十會社ト云フモノハ、御改正ニ依ル所ノ四分ノ率ガ全部貰ヘナイデ、サウシテ其中或ハ五厘減ルカ、一分減ルカ、或ハヒドイノハ二分五厘位シカ貰ヘナイ——結局自分ノ收入ト合ハセデデアリマスカ、或ハ二分五厘、三分、三分五厘ト云フコトニナッテ、四分ニ達シナイ所ノ會社ガ六十會社出ルコトニナル、是ハ洵ニ残酷デハナイカト云フコ

トヲ、一昨日カラ申上ゲタノデアリマス、出來得ベクンバ斯ウ云フ補助ヲ與ヘル資格ノアル會社ニ向ッテハ、四分ナラ四分ト云フモノ、率ハ、全部補助シテ戴キタイト云フコトガ、私ノ希望デアルノデアリマス、サウ云フ結果ニナルコトハ、無論鐵道デモ御認メニナッテ居リマセウガ、此點ハ根本ノ方針デアリマスカ——決シテ政府委員ニ對シテ、私ノ方カラ輕ンズル譯デモ何デモアリマセウガ、是ハ根本ノ問題デアリマスカ、一應大臣ノ御氣持ヲ伺ッテ見タイト思ッテ居ルノデアリマスガ、政府委員ノ御方カラ其點ニ付テ御説明シテ戴イテモ結構デアリマス、若シサウデナカッタナラバ、一應今日ハ保留シテ置キマスガ、此六十會社ヲ救済スルト云フ御氣持ニナッテ貰ヘルカドウカト云フコトヲ、大臣ニ質問シテ見タイト思フノデアリマスカ、ドウデアリマセウカ

○前田政府委員 大臣ノ御氣持ヲ御質問デアリマス、私カラ何トモ其點ヲ御答ノ申上ゲ様ハナイノデアリマスガ、今堀内サンノ御舉ゲニナリマシタ數字ハ、一應御尤デアリマスカ、此改正案ハ、現行ノ法律ニ依リマシテ補助ヲ受ケル資格ノアル鐵道ハ、一部補助率ガ下ガリマスケレドモ、現行法ノ計算ニ依ッテ行クト云フ立前ニシテ

居ル譯デアリマス、隨テ四分未滿ノ補助ヲ受ケルカモ知レナイト云フ事情ニアリマス鐵道ハ、只今御示シノ數ヨリ遙ニ少クナル譯デアリマス、即チ現行法ノ計算方法ニ依リマシテ、補助ヲ今後サレテ行キマスモノガ、其中カラ差引カレルコトニナルノデアリマスルガ……委員長如何デセウ、此際ニ此法律案ダケデハ、ドウ云フ風ノ改正カト云フコトガ御分リニナラナイノデヤナイカト考ヘマス、大體ノコトヲ御説明申上ゲマシタラ……

○清瀬委員長 結構デアリマス

○前田政府委員 ソレデヤ御許シヲ得マシテ、一昨日大臣カラ極ク大體ノ改正案ノ骨子ヲ御説明申上ゲタ譯デアリマスケレドモ、法律案ダケデハ御諒解ノ行カナイヤウナ書キ方ニナッテ居リマス、暫ク御時間ヲ拜借致シタイト考ヘマス、御承知ノ通りニ現行法ハ、明治四十四五年頃カラ施行サレテ居リマシテ、數次ノ改正ハ經マシタケレドモ、大體ノ考ヘ方トシマシテハ、同じヤウナ考ヘ方ヲ取ッテ來テ居ルノデアリマス、ソレデハ建設費ノ五分額ヲ先以テ補助ヲスル、サウシテ若シ利益ガ建設費ノ一分以上アリマシタ場合ニハ、其一分ヲ超過スル金額ヲ、補助スベキ五分額ノ金額カラ

控除シテ補助スル、是ガ現行法ノ計算方法
デアリマス、サウシテ現行法ノ趣旨ハ、地
方鐵道ハ總テハ一人前ノ立派ナ鐵道ニナル
譯デアルケレドモ、開業匆々ト云フモノ
ハ、中々サウ旨ク行カナイノデアルカラ、
其間補助ヲシテ、一人前ノ鐵道ニナルコト
ヲ待ツ、斯ウ云フ趣旨カラ致シマシテ、十
年間ノ補助ト云フコトニナッテ居ル譯デア
リマス、所ガ昭和六年ニ地方鐵道法ヲ改正
致シマシテ、昭和十一年十二月三十一日迄
ニ開業シタモノデナケレバ、現行補助法ニ
依ッテ補助ハシナイ、即チ昭和十二年一月一
日以後ニ營業ヲ開始シタ鐵道ハ、最早補助
ノ圏外ニアルノダ、斯ウ云フ風ナ意味ノ改
正ガ行ハレマシタ、隨テ今年ノ一月一日以
後ニ開業致シマシタモノハ、本法ニ依ッテ
補助ヲ受ケルコトハ出來ナイ、斯ウ云フ事
態ニ立至ッテ譯デアリマス、隨テ現行補助法
ハ、開業十年未滿ノモノガ今日殘ッテ居リ
マスカラ、其地方鐵道ガ順次今後補助ヲ受
ケル資格ヲ喪失スルニ連レマシテ、段々先
ガ細ッテ行ク、サウシテ昭和二十一年ニハ補
助鐵道ハ零ニナル、斯ウ云フ仕組ニナッテ居
ルノデアリマス、所ガ地方鐵道ノ現狀ハ、
本日御手許ヘ御要求ニ依リマシテ配リマシ
タ印刷物ヲ御覽下サレバ分リマスマウニ、

四分未滿ノ建設費ニ對スル利益シカ舉ゲテ
居ナイ鐵道ガ過半數ナンデアリマス、是ハ
國家ノ交通網ノ一ツノ重要ナ役割ヲ果シテ
居リマス地方鐵道ノ現狀ハ、默視シテ居ル
譯ニハ行カナイ、隨テ放ッテ置ケバ自然ニ無
クナッテ行ク地方鐵道ノ補助ヲ、何等カノ形
デ今暫ク實施シテ、サウシテ地方鐵道ノ運
營ヲ保持シ、效用ヲ増進セシムル必要ガア
ル、斯ウ認メマシタ次第デアリマス、ソコ
デ然ラバドウ云フ風ナ形デ今後之ヲ繼續シ
テ參ルカト云フコトニ付テ、色々考ヘタノ
デアリマスガ、其方法ト致シマシテハ二ツ
考ヘ得ル、一ツハ北海道ガ拓殖費ニ依リマ
シテ地方鐵道ヲ補助シテ居ルノデアリマス
ガ、ソレハ内地ト事情ガ違ヒマスノデ、開
業後十五年間補助スルト云フコトニナッテ
居ッタノデアリマスガ、ソレヲ今回議會ニ
二十箇年ニ延長スル、斯ウ云フ法律改正案
ガ出テ居ルヤウデアリマスガ、ソレト同ジ
筆法デ、開業後十年ト云フノヲ開業後十五
年、斯ウ云フ風ニ改正スルコトモ、一ツノ
方法デアラウト思フノデアリマス、現ニ民
間ノ團體ヤ何カカラハ、開業後十五年ト云
フ風ニ延長シテ貫ヒタイト云フ陳情モ、鐵道
大臣ニ出テ居ルノデアリマス、所ガ内地ノ
鐵道ノ多クハ開業ガ舊イノデアリマシテ、

隨テ若シ開業後十年ト云フ制限ヲ、十五年
ニ延長スルト云フ方法ニ依リマス場合ニ
ハ、恐ラクハ現在ノ地方鐵道ノ半數近イ地
方鐵道ハソレダケデ補助ノ資格ガ全然ナ
イ、斯ウ云フ結果ニ立至ルデアラウト考ヘ
ルノデアリマス、隨テ其半數近クノ地方鐵
道ノ中ニハ、四分以下ノ利益シカ舉ゲテ居
ナイト云フ、補助スベキ地方鐵道ガ多數ア
ルコト、思ハレマスノデ、隨テ民間團體ノ
陳情モアリマシタケレドモ、此十年ヲ十五
年ニ延長スルト云フ方法ハ、今日ノ實情ニ
即シタモノデナイ、斯様ニ考ヘマシタノ
デ、此方法ハ捨テタノデアリマス、ソコデ
他ノ方法ハ何カト言ヘバ、今回提案致シマ
シタ案ナノデアリマス、改正案ノ要旨ハ、
先以テ現在ノ法律ニ依リマシテ、十年間補
助ノ途中ニアル鐵道ヲドウスルカ、是ハ現
行法ノ既得權ト申シマスガ、兎ニ角期待ノ
利益ヲ濫リニ喪失セシムルコトハ宜シクナ
イ譯デアリマスカラ、計算方法ハ現行法通
リニ、ソレノ鐵道ノ補助ノ資格ノアル間
ハ、其儘繼續シテ行ク、唯現在ノ一般經濟
狀態等ニ鑑ミマシテ、補助額ノ五分デアッ
タノヲ四分ニ、一分低下セシムル、斯ウ云フ方
法デ補助ヲヤッテ行カウ、サウシテ其他ノ補
助ヲ要スベキ鐵道ニ對シテハドウスルカ、

ソレハ大體建設費ニ對スル利益ノ四分ト云
フコトヲ目標ニ致シマシテ、利益ガアレバ
ソレヲ差引イデ、サウシテ四分ノ範圍内ニ
於テ補助ヲスルヤウニシタラ宜イダラウ、
ソコデ其方法ト致シマシテ、是ハ何時カ堀
内サンカラ御質問ニナッテ居ル點デアリマ
スガ、一寸複雑デアリマスノデ、正確ナ方
法デアリマセヌガ、大體ノ觀念ヲ先ニ申
シマスト、營業費ノ半額ヲ大體ニ於テ補助
金トシテ交付スル、斯ウ云フ意味デアリマ
ス、營業費ト申スノハ、申ス迄モナイコト
デアリマスガ、日々汽車ヲ運轉シ、旅客貨
物ヲ運ブ爲ニ、必要ナル費用デアリマス、
其費用ノ大體半額ヲ補助金トシテ支給ス
ル、サウシテソレガ利益ト合セマシテ、四
分ニナリマスマウナ程度デ打切ル、即チ利
益ガアッテモナクテモ、四分マデシカヤナ
イ、斯ウ云フヤウニ最大限度ヲ四分ト云フ
點ニ置イタノデアリマス、ソコデ營業費ヲ
然ラバドウ云フ風ニ計算スルカト云フ問題
デアリマス、是ガ法文ニ「運輸數量ニ基キ
命令ノ定ムル所ニ依リ」ト、斯ウ書イテアル
點デアリマス、鐵道會社ノ營業費ノ單價ト
申シマスモノハ、一人ヲ一軒運ブ、或ハ一
軒ヲ一軒運ブ、是ガ營業費ノ單價デアリマ
ス、之ヲ私共ノ方デ一人軒幾ラ運ブ、

斯ウ云フ風ニ申シテ居リマスガ、其中デ旅客ノ營業費ト貨物ノ營業費トハ、多少經費ガ違フ譯デアリマス、貨物一噸ヲ運ブノニ對シマシテ、旅客ハ二人ヲ同ジ金額デ運ベ
ル、斯ウ云フ大體ノ目安ヲ付ケマシテ、サウシテ各地方鐵道ノ平均單價ヲ調査致シマシテ、各地方鐵道ノ一人施料當リノ營業費カラ、最小自乘法ニ依リマシテ、ソレノ輸送密度ノ鐵道ノ一人施料當リノ營業費ノ單價ヲ算定シタノデアリマス、其算定ニ基キマシテ、其會社々々ノ輸送數量ヲ、其單價ニ乘ジテ補助金ヲ計算ショウ、斯ウ云フ譯デアリマス、隨テ密度ノ少イ會社ノ營業費ノ單價ハ比較的の多クテ、サウシテ密度ガ段々増シマスニ從ッテ營業費ノ單價ガ減ッテ參ル、是ハ鐵道ノ營業費ノ實情デアリマ
スバカリデナク、大體ニ於テ總テノ場合ニ當嵌マルコトナノデアリマス、隨テ運輸密度ガ増シマスニ連レマシテ、補助金ノ絕對額ガ多少殖エテ參リマスガ、總體的ニハ密度ノ少イ會社ノ方ガ、ズツ補助金ノ額ガ多
イ、總體的ニハ多イ、斯ウ云フ仕組ニ致シテアル譯デアリマス、ソコデ一昨日カラ色
色御質問ニナッテ居リマスル點ハ、大多數ノ地方鐵道ハ利益ト合セテ四分ニハナルノデアリマス、所ガ少數ノ鐵道ハ、今申上
ゲマ

シタヤウナ計算ニ依リマシタ場合ニ、利益ト合セテ四分ニナラナイ鐵道ガ生ズル譯デアリマス、其點ガ問題デアアル譯デアリマス、大體ニ於キマシテ地方鐵道ノ補助費ハ、時
ニ依リマシテ多少ノ増減ハアリマシタガ、七百五十萬圓ト云フコトガ、大體例年ノ豫
算ニナッテ居ルノデアリマシテ、今後其額ガドウ云フ風ニ變遷シテ參リマスカト云フコ
トハ、無論申上ゲルコトハ出來ナイノデア
リマスルガ、本法ノ施行ニ依リマシテ特ニ補助金ヲ減額ショウトカ何トカ云フヤウ
ナ、特別ナ考ヲ持ッテ居ル譯デハナイノデ
アリマスノデ、隨ヒマシテ大體ニ於キマシ
テ、今後モ七百五十萬圓ガ持續サレルモノ
ト、斯ウ假定致シマスルト、從來ノ現行法
ノ補助ニ依リマシテ、ソレノ毎年補助ノ
給付ヲ受ケマシタ地方鐵道ハ、最近ハ百見
當デ、必シモ七百五十萬圓全額ヲ使ヒ切ル
トハ限ラナイ、場合ニ依リマシテ八十萬圓
殘ルコトモアル譯デアリマスガ、ソレハ殘
ルノハ極ク僅カデアリマスノデ、補助ノ數
ヲ百トシテ七百五十萬圓ヲ割レバ、一社平
均ガ七萬五千圓ヅツ貰ッテ居ッタト云フ勘定
ニナル譯デアリマス、今回ノ計畫ヲ立テマ
スニ當リマシテ、無論ソレガ來年度ノ補助
ノハッキリシタ決ッタモノデハナイノデアリ

マスルケレドモ、監督局ニ於キマシテ、補
助ノ申請ノアリマシタ會社ノ中デ、大體見
透シラ付ケマシテ選擇致シマシテ、百五十
餘リ實ハ拾ッテ見テ、サウシテソレニ依リマ
シテ今回ノ計畫ノ基礎ヲ作ッタ譯デアリマ
スガ、其百五十餘リノ地方鐵道ニ對シマシ
テ、即チ開業後十年未滿ノモノニハ、現行
法ノ計算方法ニ依リ、ソレカラ十年以上經ッ
テ居ルモノニハ、今度ノ改正法ノ計算方法
ニ依リマシテ計算致シマスルト、一昨日モ
申シマシタヤウニ、大體八百七十萬圓ノ
金ガ要ル譯デアリマス、ソレデ之ヲ七百五
十萬圓ノ豫算デアリマスカラ、七百五十萬
圓ニ切縮メナケレバナラナイ譯デアリマ
ス、サウシマスルト七百五十萬圓ニ對シテ
百五十ト云フ計算ニナリマスルノデ、從來
ノ七百五十萬圓ヲ百ニ分ケマシタヨリハ、
平均ノ一社當リノ補助金額ハ減ル、斯ウ云
フコトニナルコトハ申ス迄モナイ譯デアリ
マス、ソレデ四分ニ滿タナイヤウナ補助ニ
ナルコトハ、甚ダ氣ノ毒デハナイカ、斯ウ
云フコトガ一昨日カラ堀内サンノ御質問ノ
ヤウデゴサイマシテ、是ハ洵ニ其點ハ御尤ト
ハ思フノデアリマスルガ、私共ノ方デモ色
色考ヘマシタ結果、マア此點ハ多少氣ノ毒
デハアリマスルガ、四分ニナラヌ少數ノ鐵

道會社ニ對シマシテハ、自力更生ヲ促スコ
トニ致シマシテ、サウシテ私共ノ方デモ極
力之ヲ應援シテ、一日モ早く四分ノ所マデ
ハ到達スルヤウニ、相互ニ協調シテ努力ヲ
シテ參リタイ、サウ云フコトガ、已ムヲ得
ズ四分未滿ニ結果ガナリマスヤウナ地方鐵
道ヲ、其儘ニ殘シマシタ理由デゴザイマス、
其外ニ此改正法律案ニハ、命令ノ定ムル所
ニ依リト云フコトガ三、四アルノデアリマ
ス、是ハ從來ノ法律ニ於キマシテモ、或ハ建
設費デアリマスとか、或ハ益金デアリマス
とか云フモノ、算出方法ハ、命令ノ定ムル
所ニ依ッテ決メルコトニナッテ居リマシタ譯
デアリマス、極ク細カイ計算ノ方法ナンデ
デアリマスノデ、今回モ其儘ニ致シテアル譯
デアリマス、殘リマス點ハ、第一條ノ補助
ヲ爲ス地方鐵道ノ範圍ハ何カト云フ問題
ト、第二條ノ補助ノ使途ハ命令ヲ以テ之ヲ
定メル、斯ウ云フ問題ト、此二ツガ命令ヲ
以テ定メルモノトシテハ、比較的重要ナ點
デアラウト思フノデアリマスガ、此補助ヲ
爲スベキ地方鐵道ノ範圍ト云フコトニ付キ
マシテハ、一昨日堀内サンノ御質問ニ對シ
マシテ、大體御答ヲ致シタノデアリマスル
ガ、繰返シテ簡單ニ申上ゲマス、積極的
ニハ、國有鐵道ト或ハ直通連絡ヲヤッテ居

ルトカ、或ハ連帶運輸ヲヤッテ居ルトカ、斯
ウ云ツタ國家ノ鐵道網ノ一ツノ部分ニナッテ
居ルト云フコトガ、特ニ重要ナ點デアラウ
ト思フノデアリマスガ、但シ是バカリニ必
シモ限ル考ハナイノデアリマシテ、産業ノ
發達等ニ對シマシテ、其地方鐵道ノ位置ガ
相當デアルト申シマスカ、是非補助シナク
テハナラヌヤウナ鐵道ニ對シテハ、補助ス
ルコトニ致シタイト考ヘルノデアリマス、
消極的ニ、例ヘバ本業ノ鐵道ハ儲ケガ非常
ニ少イノダケレドモ、副業ガ非常ニ成績ガ
良クテ、始終或ハ五分ナリ六分ナリノ配當
ヲヤッテ居ル、斯ウ云フ鐵道デアリマス
カ、占用線ノ性質ノ顯著デアリマス鐵道、
サウ云ツタヤウナ鐵道ニ對シマシテハ、補助
ヲスル必要ガ差當リナイノデヤナイカ、斯
ウ云ツタヤウナ意味ノ範圍ノ決メ方ヲ致シ
タイト考ヘテ居ル譯デアリマス、ソレカラ
第二條ノ使途ヲ命令ヲ以テ定メル、是ハド
ウ云フ意味カト申シマス、在來トモ補助ヲ
支給致シマシテ、サウシテソレガドウ消エテ
居ルノカ分ラナイ——ト言ッテハ少シ語弊ガ
アルカモ知レマセヌガ、補助金ノ使ヒ方ト
シテハ有効適切デナイ、斯ウ云フヤウナ方
法ニ使ハレル虞ガアル場合ガアルノデ、色
々補助ノ指令ヲ出シマス際ニ、會社個々ニ

對シマシテ、ソレノ色々御話ヲシテ、サ
ウシテ出來得ル限り此補助金ヲ、會社ノ
成績ヲ向上スルヤウナ方法ニ使ハセルト云
フコトニ仕向ケテ來タ譯デアリマス、今回
ハソレヲ法文ニ根據ヲ求メヨウト云フ意味
デ、命令ニ依リマシテ、大體ニ於テ補助金
ヲ得レバ、其補助金ヲ使フ使ヒ方ヲ決メタ
イ、其使ヒ方ト云ヒマスノハ、先ヅ第一ニ
營業費ノ足ラヌモノガアレバ營業費ニ使
フ、是ハ當然ノコトデアリマス、ソレカラ
其次ニハ施設ノ改良ニ之ヲ使フ、ソレカラ
借金ノ利子ニ使フ、斯ウ云ツタヤウナ大體ノ
順序ヲ決メマシテ、サウシテソレヲ變更ス
ル必要ノアル場合ニハ、御相談ヲ受ケテ變
更スル、斯ウ云フ風ナ意味ノ條文ヲ命令デ
決メタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマ
スガ、此使途ノ指定ト云フコトハ、場合ニ
依リマシテハ、補助金ヲ差押ヘラレルヤウ
ナ場合ノ結果ニモ、相當影響ガアリマス譯
デアリマス、私共トシテハ非常ニ細カイ事
デハアリマスガ、命令デモ是非決メテ置キ
タイ、左様ニ考ヘテ居ルヤウナ譯ナノデア
リマス、大體今申上ゲマシタヤウナ譯デ、
大綱ハ御諒解ヲ願ヘヤウカト思フノデアリ
マスガ、尙ホ御質問ニ依リマシテ御答致シ
タイト思ヒマス

○堀内委員 大體御話ハ分リマシタ、只今
ノ補助ノ範圍ノ事ニ付テノ御話モ御尤デア
リマシテ、今御話ノアリマシタヤウニ御實
行ニナルコトヲ希望致シマス、實ハ今日マ
デノ補助ヲ受ケテ居リマシタ會社ハ、隨分
世間デモ色々非難ノアッタ會社モアルト承
テ居ルノデアリマス、例ヘバ國有鐵道ノ競
爭線デアッテ、サウシテ國有鐵道ノ競爭線ト
シテ、乗客貨物ヲ奪ヒ去ラレルト云フヤウ
ナ會社ニ、却ッテ非常ニ多額ノ補助ヲ與ヘテ
居ッタト云フヤウナ例モ、アッタカノヤウニ
聞イテ居リマシテ、補助ヲ貰ヘナイ——國
有鐵道ト連絡シテ居ッテ、直通運輸ヲシテ居
ル會社デ、補助ニ漏レテ居ッタ會社ガ相當
アッタノデアリマス、サウ云フコトハ、今度
此法律改正ト同時ニ御實行ニナルコトハ、
是ハ洵ニ結構ナコトデアリマス、結局此補
助ノ御趣旨ハ、困ルモノニ與ヘルト云フコ
トガ本ニモナリ、又鐵道ノ特別會計ノ中カ
ラ金ヲ御支出ニナルノデアリマスカラ、ヤ
ハリ國有鐵道ニ對シテハ榮養線トナリ、又
國有鐵道ノ爲ニ有益ノ鐵道デアルト云フヤ
ウナ點ニ、無論重點ヲ置カレルコト、思ヒ
マスルカラ、其點ハ洵ニ御説明ノ通りデア
リマス、唯何度申上ゲテモ同ジヤウナコ
トデアリマスガ、只今ノ御説明ニ依リマシ

テ、補助ノ沿革モ能ク承知モ致シテ居ルノ
デアリマスガ、要スルニ問題ハ、今御説明
ノ中ニアリマシタ少數ノ鐵道會社デ、自分
ノ所ノ利益ト補助金トヲ合セテ四分ニ達セ
ナイモノ、今局長カラモ仰シヤイマシタ其
點デアリマス、其會社ガ何會社アリマセウ
カ、一寸私ノ豫定デハ、六十會社位アラウ
カト思ヒマスガ、是ハホンノ私ノ見込デア
リマスカラ、或ハ減ルカモ知レマセヌ、減
ルカモ知レマセヌガ、其會社ガ洵ニ困ッテ居
ルラシイ、自分ノ利益ト補助ヲ合セテモ四
分ニ達シナイト云フ會社ハ、小サイ會社デ
困ッテ居ル會社デアリマス、其會社ニ四分ノ
恩典ガ潤フ、大體營業費ノ半額ヲ出シテ吳
レルト云フノナラ何デセウガ、是デモ幾分
ハ潤ヒマセウ、ソレカラ此四分ニ達セナイ
會社ニ付テデアリマスガ、ソレヲ鐵道省ノ
方ノ御方針トシテハ、自力更生ヲ促シテ、
サウシテ四分ニナルヤウニ協調サセタイト
仰シヤル、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、オ前ノ方
ハモット勉強シロ、モット勉強シテモット荷物
ヲ殖ヤセ、乗客ヲ殖ヤセ、サウスレバ俺ノ
方ノ補助ヲソレニ準ジテ餘計増シテヤル
ゾ、斯ウ云フコトデアリマスガ、ソレヲサ
ウ仰シヤラズニ、四分ニ達スルマデヤルノ
ダ、ヤルケレドモ、オ前ノ所ハモット勉強シ

ナクチャイカヌゾ、補助ノ年限ハ五年シカ
延長出來ナイノデアルカラ、五年ノ補助ノ
年限ガ切レル時ニハ、自力更生ノ出來ルヤ
ウニ極力勉強シロ、斯ウ言ッテ戴イテ、其點
ヲ協調シテ、斯ウ云フ點ガオ前ノ所ハマダ
イケナイ、斯ウ云フコトハ改良シナケレバ
イケヌト云フヤウナ、御氣附ノ點ガアリマ
シタナラバ、御監督ノ任ニ當ッテ居ル御役
所デアリマスカラ、サウ云フ風ニ御指導ヲ
願ヒタイ、斯ウ云フコトデアリマシテ、オ
前ノ方デ勉強スレバ補助モ増スカラ勉強シ
テ來イト云フノヲ、四分ハヤルカラモット
勉強シナケレバイケヌト云フ點デアリマス
ガ、要スルニ十年ノ期限ガ經過シテシマッ
テ、マダ困ル鐵道ガ澤山アル、其際ニ十年
ノ期限ノ經過シタモノニ、モウ五年延長シ
テアルノダ、其五年ノ延長ノ改正案ガ茲ニ
出マスル時ニ、其中ノ少數ナリト雖モ、數
十會社ガ四分ト云フモノ、恩典ニ浴スルコ
トガ出來ナイト云フコトニナリマシレバ、
其會社ノ爲ニ非常ニ私ハ考ヘテヤラナケレ
バナラヌト思フノデアリマス、寧ロ金額モ
少イノデアリマス、ソレカラ今迄七百六十
萬圓ト云フ金ハ、今後永遠ニ給與サレルガ
至當デアラウ、サウ又假定シテト云フ局長
ノ言葉ハ、洵ニ有難ク感じマスガ、從前私

共ハ屢々當局ニモ御願ヲシマシタ時ニ、或ハ
二十萬ヤ三十萬ノ金ヲ増シテ戴クノニ、中
骨ガ折レタ時代ガアッタ、六百三十萬圓ヲ
六百五十萬圓ニ増シテ下サイト云フコトラ
言ウタ時ニ、國有鐵道ハ赤字ヲ出シテ居
ル、從業員ノ待遇モ悪い、總テノ點ニ於テ
非常ナル節約ヲシナケレバナラヌカラ、私
設鐵道ニサウ云フ補助ヲヤレナイト云フコ
トラ、屢々言ハレタノデアリマシテ、成程サ
ウ云フ特別會計トシテ困ッテ居ル時デア
ルカラ、赤字ノ出ル時ニ補助ヲ貰フト云フコ
トハ恐縮デアアル、又世帯ガ大キイカラ、當
分我慢シテ下サイト云フコトラ申シマシタ
ガ、近來中々國有鐵道ノ狀況ハ、今迄ニナ
イヤウナ黒字ヲ出シテ、收入ガ六億ニ達シ
ヨウト云フヤウナ、實ニ隆々タル時代ニナッ
テ來タ、此景氣ハ日本ノ産業ノ發展ト共ニ
決シテ後ヘ退クマイト思フ、自動車等ノ影
響ガアルト云ッテモ、國有鐵道ニ取ッテハ僅
カナコトデアアル、國有鐵道ノ營業ト云フモ
ノハ、非常ニ是カラ良クナルノデアリマシ
テ、利益モ亦擴大スルノデアリマスカラ、
ドウゾ此私設鐵道ノ困ッテ居ルモノガ、之ヲ
御願スルト云フ場合デアリマスカラ、ホン
ノ僅カナコトデアアル、デアリマスカラ、ソコ
ヲ徹底スルヤウニシテ戴イタナラバ、ドノ

ヤウニ小會社ハ喜ブカ知レナイト思フ、成
程上ノ方カラ考ヘマスレバ、國鐵ノ金ヲ餘
シテ、他ノ會社ヲ見テアルノダト云フ、又
サウ云フ理由モアリマセウケレドモ、兎ニ
角今年ノ補助ヲ與ヘテ見テヤッタモノヲ、
マダドウモ復活ガ出來ヌト云フヤウナモノ
ヲ、モウ五年見テヤラウ、斯ウ云フノデア
リマスカラ、ソレハ色々運輸數量トカ何ト
カ面倒ナコトデナクテ、現行法ノ通りニヤ
ハリ百分ノ五ナルモノハ貰ヘルト云フヤウ
ナコトニ、御同意ガ出來ルカ出來ヌカト云
フコトラ、一應私ハ大臣ニ御氣持ヲ伺ッテ見
ヨウカト、斯ウ申シタ次第デアリマスガ、
只今局長ノ御説明ニ依ッテ、局長ノ、御趣意
ノアル所ハ能ク諒承致シテ居リマス、唯其
點ガドウモ私マダ納得ガ出來ナイノデアリ
マス、是ハ理由ノ問題デハナイノデス、是
ハ自然理由ハ外ニモアルノデアリマセウ
ガ、モウ一步御進ミニナッタドウカ、斯ウ
云フ點デアアルノデアリマス、此質問ハ此程
度デ打切りマシテ、今度御提案ニナリマシ
タ買收路線ニ付テ、一、二一寸簡單ニ御伺
シテ見タイト思フノデアリマス、唯私ノ御伺
ニナルト云フコトハ、勿論結構ナコトデア
リマス、是ニハ何等異論ハアリマセヌ、唯

買收價額ノ算出ニ付デアリマスガ、此前
富士身延鐵道外二三ノ鐵道ヲ買收ニナラウ
ト云フ問題ノアッタ時デアリマシタガ、床次
サンガ鐵道大臣ノ時ニ、私設鐵道ノ時價ガ、
非常ニ株式ノ値段ガ安イカラ、之ヲ鐵道買
收法ノ規定ニ依ッテ買收スルト云フコトニ
ナルト、金額ガ非常ニ高クナル、一寸世間
ニ對シテモ、非常ニ時價ガ下ッテ居ルモノ
ヲ、サウ高ク買フト云フ譯ニモ行カヌカ
ラ、會社ノ方デモ我慢シタラ宜イダラウ、
此鐵道買收法ノ規定ニ依ラズニ、相當ナ價
額ヲ評定シテ、價額ヲ定メルト云フヤウナ
コトデ、現ニ富士身延鐵道ナドモ、二千百
萬圓ノ建設費ヲ、千八百萬圓ノ公債デ買收
シヨウト云フ、協定ニナッタコトモアルノ
デアリマスガ、今度ノ買收價額ノ御算定
ハ、鐵道買收法ノ規定ニ依ッテ、其規則通り
ノ計算方法デ御算定ニナルノデアリマス
カ、或ハ此前ノ床次鐵道大臣時代ノヤウ
ニ、時價ノ算定ニ大體重キヲ置カレテ、サ
ウシテ此ノ鐵道買收法ノ規定ニハ依ラナイ
ト云フ方法デ、價額ヲ御算定ニナラウト云
フノデアリマスガ、其點ヲ一ツ伺ヒタイノ
デアリマス、ソレカラモウ一ツハ、既ニ是
ハ各會社トモ御協定ニナッテ、各會社承諾ノ
上デアリマセウカ、此前ノ時ニハ、議會ニ

提出シテ、却テ北海道鐵道ノ如キハ、餘リ
値段ガ安イカラト云フノデ、話ヲ中止シタ
ト云フヤウナ——勿論議會ハアノ時通過致
シマセヌデシタガ、却テ鐵道省ノ價額ガ會
社ノ價額ト一致セナクテ、會社側ノ方カラ
斷ツト云フヤウナコトモ聞イテ居ッタノデ
アリマスガ、サウ云フヤウナ點ニ付キマシ
テ、ドンナ御交渉ノ經過竝ニ結果ニナッテ
居リマスカ、其點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○前田政府委員 參考書ノ第二十一頁ニ地
方鐵道法ノ拔萃ガゴザイマス、ソレノ地
方鐵道法第三十一條第一項ニ「買收價額ハ
左ニ掲グルモノトス」トアッテ、ソレノ
決メ方ガアリマス、第二項ト致シマシテ、
「前項第一號ノ規定ニ依ル金額カ買收ノ日
ニ於ケル建設費ヲ時價ニ依リテ國債券面金
額ニ換算シタル金額以內ニ於テ協定シタル金額
ヲ以テ買收價額トス」、斯ウ云フコトニナッ
テ居ルノデアリマス、ソレデ前項第一號ト
云ヒマスノハ、俗ニ五分ノ還元ト申サレテ
居リマス規定デアリマシテ、既往三箇年間
ニ於ケル開業線建設費ニ對スル益金ノ平均
割合ヲ買收ノ日ニ於ケル開業線建設費ニ乗
シタル額ヲ二十倍シタル金額」斯ウ云フノ
ガ三十一條第一項第一號ノ規定デアリマ

ス、此具體的ノ、買收鐵道ノ業績ガ五分ニ
足りマセヌ場合ニ於キマシテハ、其一項第
一號ノ規定ニ依ラナイデ、二項ノ規定ニ依
リマシテ、建設費ヲ時價ニ依リテ國債券面
金額ニ換算シタル金額以內ニ於テ協定シタ
ル金額、斯ウ云フコトニ法律ガ定メテ居ル
譯デアリマス、ソコデ今回ノ地方鐵道ハ、
マダ買收ノ日ガ決マリマセヌノデ、隨テ三
箇年間ノ平均ノ益金割合ガ幾ラニナルカト
云フコトハ、ハッキリシナイノデアリマス
ガ、大體ニ於キマシテ、私共ノ見透シト致
シマシテハ、藝備鐵道ハ一項一號ニ依ルコ
トニナルガラウ、五分以上ニナルガラウ、
其他ノ三ツノ鐵道ハ、三箇年間ノ益金ノ平
均割合ガ五分以下ニナルガラウ、斯ウ云フ
見透シヲ持ッテ居リマスカラ、ソレデ藝備鐵
道ハ一項一號ニ依リ、其他ノ三鐵道ハ結局
第二項ニ依ル、斯ウ云フ結果ニナルガラウ
ト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソコデ二十一
條第二項ノ規定ノ適用ガアッテ、建設費ヲ時
價ニ依ッテ國債券面金額ニ換算シタル金額
以內ニ於テ協定ヲシロ、斯ウ云フコトニ
ナッテ居ル譯デアリマスノデ、會社ト協定ヲ
致シマシタ其協定ハ、各會社ノ説明ノ末尾
ニ書イテアリマスガ、横莊鐵道ヲ例ニ取り
マス、五頁ニアリマスガ、地方鐵道法第

三十一條第一項第一號ノ規定ニ依ル金額カ
買收ノ日ニ於ケル建設費ヲ時價ニ依リテ國
債券面金額ニ換算シタル金額ニ達セサル
キハ、第三十一條第一項第一號ノ規定ニ依
ル金額ト買收ノ日ニ於ケル建設費ヲ時價ニ
依リテ國債券面金額ニ換算シタル金額トノ
和ヲ二分シタル金額トス、但シ三年間ニ於
ケル營業收入ガ營業費及賞與金ノ合計ニ達
セサルトキハ益金ノ平均割合ハ零トスルコ
トニ協定セリ、斯ウ云フ協定ヲ致シテ居ル
ノデアリマス、非常ニ複雑ナヤウニ書イテ
アリマスガ、事柄ハ極メテ簡單デ、建設費
ト、ソレカラ其鐵道ノ益金ノ還元トノ和ノ
半分、斯ウ云フコトデアリマシテ、極ク分
リ易イ爲ニ一ツ簡單ナ例ヲ申上ゲマス、
茲ニ百萬圓ノ地方鐵道ガアル、サウシテソ
レガ三箇年間ノ平均ノ益金割合ガ五分デア
リマスル場合ニハ、百萬圓ノ五分デアリマ
スルカラ五萬圓、ソレヲ三十一條一項一號
ノ規定ニ依リマシテ二十倍シマスカラ、丁
度買收價額ハ百萬圓、斯ウ云フコトニナル
譯デアリマス、三分ノ益金デアリマス場合
ニハ三萬圓デゴザイマス、ソレデソレヲ還
元致シマスルト六十萬圓ニナル、建設費ハ
百萬圓デアアル、サウシテ百萬圓ト六十萬圓
トヲ加ヘテ、二分シテ八十萬圓、是ガ買收

價額ノ協定ノ極ク簡單明瞭ナ説明デゴザイ
マスガ、詰リ益金還元デ行ケバ六十萬圓ニ
ナル、建設費デ行ケバ百萬圓ニナルノデ
ス、其和ノ半分、斯ウ云フ風ニ意味合デ、
數年間サウ云フ方法ニ依リマシテ協定スル
コトニ、鐵道省トシテ致シテ參ッテ居リマ
ス、其方法ヲ今年モ採リマシタ譯デアリマ
シテ、會社トハ斯ウ云フコトニハッキリト
協定ガ出來テ居リマス

○堀内委員 只今ノ御説明デ算定ノ數字モ
分リマシタガ、サウシマス、各會社ハ幾
ラデ買收スルカト云フ、既ニ會社トノ御協
定モ濟ンデ居ルガラウト思ヒマスガ、其金
額ヲ伺フ譯ニハ參リマスマイカ
○前田政府委員 買收價額ハ、結局先刻モ
申上ゲマシタヤウニ、買收期日ノ即近ノ三
箇年間ノ營業成績ニ依ルト、斯ウ云フコト
ニナッテ居リマスノト、ソレカラ各會社ニ實
地ニ就キマシテ現物ヲ調べ、帳簿モ全部調
ベマシテ、營業報告書ヲ間違ノナイヤウニ
是正スルコトガ必要デアリマスルノデ、其
二ツノ點ガ今日出來テ居リマセヌ關係上、
正確ナコトハ分ラナイノデアリマス、ソレ
デ御質問デアリマスルノデ、其參考書ニソ
レゾレ三箇年間ノ益金ヲ舉ゲテ置キマシタ
ガ、其益金ト此處ニアリマスル建設費トデ

計算スレバドウナルカト云フ、斯ウ云フ程

度ノコトデ御差支ナケレバ、概略申上ゲテ宜イノデアリマスガ、横莊鐵道ハ五十七八萬圓、ソレカラ信濃鐵道ハ二百六七十萬圓、藝備鐵道ハ六百二十萬圓、北九州ハ六百五十萬圓、合計千六百萬圓見當、斯ウ云フコトニナリマス

○堀内委員 私ノ質問ハ是デ終リマス

○清瀬委員長 一寸今ノニ關聯シテ御同致シマスガ、此交付公債ノ利子ハ如何デゴザイマスカ

○前田政府委員 利子ハ三分五厘ノ公債ヲ交付スル積リデアリマス

○清瀬委員長 アナタノハ簡單デゴザイマスカ、簡單ナラバ一寸晝マデニ時間ガアリマスカラ

○植村委員 大臣ハ御見エニナリマセヌデセウナ、私ハ大臣ニ伺ヒタイト思ッテ居ルノデスガ……

○清瀬委員長 ソレデハ暫ク休憩致シマシテ、午後ハ本會議モアリマスカラ、午後二時カラ再會致シマス

午前十一時五十四分休憩

午後二時十分開議

○清瀬委員長 午前ニ引續キ會議ヲ開キマ

ス——林路一君

○林委員 地方鐵道補助法中改正案ノ疑點

ニ付テ御同致シマス、大體午前中堀内君ノ質問ニ對シテ監督局長ガ改メテ系統的ニ御答辯ナスツアノ御答辯デ、餘程内容ガ判然致シタノデアリマスガ、更ニ私ハ端的ニ具體的ニ一ツ御同致シテ見タイト思ヒマス、本改正ニ依ッテ、或ルモノハ五箇年間補助期間延長ト同一結果ニナリ、或ルモノハソレ以下ノ延長ニナリ、或ルモノハ全ク延長ノ適用ガナイト云フコトニナル、例ヘバ此改正法ニ依レバ、昭和十七年ノ四月一日マデノミノモノガ適用サレ、隨テ現行法ニ依ッテ昭和十七年四月一日以降ニ互テ補助ヲ受ケルモノハ關係ガナイ、唯本改正案ノ附則ニ依ッテ補助率ヲ下ゲラレル、五分ヲ四分ニ下ゲラレル、サウ云フ風ニ解釋シテ宜シイノデアリマスカ

○前田政府委員 御趣旨ニ一寸諒解サレヌ

點モアリマシタガ、從來ノ規定ニ依リマシテ本鐵道ガ其資格ヲ持ッテ居ル點ハ全然變リガナイノデアリマス、唯建設費ノ五分デアツタ點ガ四分ニ變ッタ、斯ウ云フダケノ差デアリマス、本法ニ依ッテ十七年四月一日以後ニハ適用ガナイト云フコトハ、本法第一條ノ規定ニ依ル補助金ノコトデアリマ

ス、隨テ十年ヲ補助スルト云フコトニ付キマシテハ、形ノ上デハ十箇年間全部ガ補助サレ得ル形ニナル譯デアリマス、サウシテ改正法第一條ノ規定ハ、十年ノ補助ヲ終ッタモノニ付テ適用サレル、斯ウ云フ形ニナル譯デゴザイマス

○林委員 既ニ十年ノ補助期間ガ滿シシテ

一年若クハ二年、三年經ッタモノモ、此改正法ニ依ッテ、今度ハ十七年四月一日マデハ補助セラレル、斯ウ云フコトニナルノデアリマスネ

○前田政府委員 只今御話ノ通りデアリマ

ス

○林委員 附則ノ規定ヲ見マスルト、此但

書ニ依リマシテ、從前ノ規定ニ依リマシテ十年間本法ノ補助ヲ得テ居ル鐵道ガ、今回ノ改正ニ依ッテ、此附則ノ但書ニ依ッテ、百分ノ五ガ百分ノ四ニ減率セラレル、此點ニ付テ御同致シマスルガ、鐵道省ノ補助指令ハドウ云フ正合ニナッテ居ルノデアリマセウカ、見様ニ依ッテハ、若シ將來ニ互ッテ現行法ノ五分ト云フモノデ補助スルト云フ立前ヲ取ッテノ指令デアラナラバ、如何ニモ法律上神聖ナル——完全ナル既得權ノ侵害トハ言ヘナクテモ、心理的ニハ既得權ノ侵害ニモナルノデスガ、補助指令トノ關係ハド

ウナッテ居リマスカ

○前田政府委員 鐵道省ノ補助指令ハ以前

ニハ區々ニナッテ居ッタ場合モアツタヤウデスガ、最近ハ一年々々ニ拔ッテ指令ヲ出シテ居ルノデアリマス、隨テ十箇年補助ヲ受ケルト云フコトハ、マアサウ云フ期待ヲ持ツト云フコトニハナルノデアリマスケレドモ、極ク純粹ノ意味ニ於ケル既得權ト云フコトニハナラナイノデ、五分ヲ四分ニ減ラスコトハ氣ノ毒デハアリマスケレドモ、時勢ノ變化ト云フヤウナコトヲ考ヘ合セマスト、是デ忍シデ貫ッテ宜イデヤナイカ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○林委員 何議會デアリマシタカ、兩三年

前ノ本院ニ朝鮮ノ地方鐵道ノ補助法改正案ガ出マシタ際ニ、北海道ノ地方鐵道ノ補助法ノ問題ニ關聯シテ、其委員會デ論議セラレタコトガアルノデアリマスガ、五分ヲ補助スルト云フ規定ノ下ニ補助指令ガサレテアルトスレバ、ソレハ其補助期間中ハ五分ト云フモノヲ約束シタ譯デヤナイカ、年度毎ニ指令ヲシテアッテモ、五分ダケハ保障セラレルモノトシテソコニ期待ガアル、強ヒテ言ヘバ期待權トデモ言ッタラ宜カラウ、斯ウ云フヤウナ議論ガ交ハサレタノデアリマス、是ハ鐵道省ノ補助法ニ直接關係ガアツタ間

題デハナイノデスケレドモ、現ニ其意味カラシテ、朝鮮鐵道ノ補助年限延長ノ際ニ於キマシテモ、從前ノ補助率ハ影響シナイヤウニ改正ヲシタノデアリマス、又今日本會議ノ日程ニ上ッテ居リマスル北海道ノ拓殖費支辨ニ依ル地方鐵道ノ補助ニ於テモ、補助率ハ年限延長ノ部分ノミニ新シイ補助率ヲ適用スル、古イモノニハ影響シナイト云フヤウナ工合ノ規定ノ仕方ニナッテ居リマシテ、鐵道省ダケガ特ニ所謂期待權ヲ裏切ルヤウナ改正ノ仕方デハナイカト思フノデアリマスガ、此點ニ付テ更ニモウ一度御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○喜安政府委員 林サンノ只今ノ御質問御

尤ト思ヒマス、朝鮮ニ於キマスル補助法ノ改正ノ場合ニサウ云フヤウナ問題ノ起ッタト云フコトモ承知シテ居ルノデアリマス、又内地ノ地方鐵道補助法ノ改正ニ付キマシテハ、昭和八年デゴザイマシタカ、從來補助金五分、利益ガ二分合セテ七分ニナルヤウナ風ニナッテ居リマシタノヲ、利益ヲ一分、補助金ハ五分ト致シマシテ、詰リ合セテ六分マデヲ限度トスルト云フ風ニ改正ヲ致シマシタ、ヤハリ其時ニモ色々問題ガゴザイマシタガ、サウ云フ風ニ此昭和八年ニ變リマシタノハ、金利ガ幾ラカ下ッテ來タト云

フコト、、限度ノアル補助金ノ豫算ヲ、成ベク補助ヲ受ケル鐵道ノ範圍ヲ廣クシテ均霑サセタイ、斯ウ云フヤウナ意味合モ含メテ改正ヲ致シマシタ譯デゴザイマス、其時ニヤハリ先程監督局長ガ一年々々デ指令ヲ出シテ居ルト申シマシタノデスガ、今日ハ全部一年々々ニナッテ居リマス、當時昭和八年頃ニハ昭和十一年頃マデ補助ノ指令ノ出テ居ル會社ガ二三ゴザイマシタ、三年、五年ト云フ數年先キニ互ッテ補助ヲ許可シテ居ルモノガゴザイマシタ、サウ云フ補助ノ指令ヲ受ケテ居ルモノハ、是ハ理窟ヲ言ヒマスレバ、當時行ハレテ居タ法律ノ規定ニ依ルンダト云フ理窟モ立テ得ラレナイコトハナイガ、何セ補助ノ指令ヲ受ケテ居テ七分ニナルノガ六分ニ下ッテ氣ノ毒ダト云フ意味合カラ致シマシテ、サウ云フ先キニ跨ッテ指令ヲ受ケテ居リマスルモノニ付キマシテハ、從來通りノ率ニ依ルト云フコトニ致シマシテ新シク指令ヲ出シタ分カラ六分ニスルト、斯ウ云フ風ニ改正ヲシタヤウニ思ヒマス、今回ニ於キマシテモ、ヤハリ市場一般ノ金利ガ下ッタト云フコト、並ニ情勢ガ變リマシタカラ補助ノ方法ヲ變ヘルト云フコト、、更ニモウ少シ廣ク補助ヲ受ケル鐵道ノ範圍ヲ擴メタイ、斯ウ云フヤウ

ナ趣意カラ立案ヲ致シタモノデゴザイマスノデ、先程監督局長カラ御話ノゴザイマシタ如ク、多少御氣ノ毒ト云フ感ジハ致サヌコトハナイノデゴザイマススケレドモ、マア全體ノ人ノ利益ト云フヤウナコトヲ考ヘテ忍ンデ戴ク外アルマイト斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○林委員 今回ノ改正ニ於キマシテ最モ特

色ト認メラレル點ハ、第一條ノ規定ニ依リマシテ補助金ノ計算方法ヲ變ヘラレタト云フコトデアリマス、即チ「運輸數量ニ基キ命令ノ定ムル所ニ依リ計算シタル金額」云々、此點ガ從來トハ全く異ナルノデアリマス、隨テ之ヲ適用セラレマスル結果トシテ補助率ハ百分ノ四デアッテモ實際ハ百分ノ四以下ニナルト云フ場合ガ起ルコトハ堀内サンノ質問ニ對スル答辯ニ依ッテ明瞭致シタノデアリマスガ、私ハ此運輸數量ニ關スル計算ヲ補助ノ中ニ入レルト云フコトハ是ハ適當ダト思フ、詰リ私設鐵道ノ經營者ヲシテ努メテ收益ヲ擧ゲシムルヤウニ努力サセル獎勵方法トシテ、此規定ハ從前ニ於テモ當然ナケレバナラナカッタモノデヤナイカト思フ、此規定ハ適當デアリマスルガ、能フコトナラバ百分ノ四ト云フモノ、利益率、或ハ補助率、詰リ百分ノ四以上ノ利益ノアッ

タ場合ニハ補助ガナイノデアリマスカラ、先ヅ此法律ニ於テ、自ラ働イテ百分ノ四ヲ得ルカ、或ハ働イテモ尙ホ足りナイ場合ニ於テ政府カラ百分ノ四ノ補助ヲ受ケラレ、此百分ノ四ダケハ私設鐵道經營上政府ノ一ツノ補償率ト認メラレルナラバ非常ニ安心シテ經營ガ出來ルノデアリマシテ、其上ニ輸送關係ニ依ッテ、詰リ獎勵補助ト云フヤウナモノヲ考ヘラレルコトガ適當デハナカッタカト思フノデアリマス、即チ運輸數量ノ非常ニ多ク非常ニ働イテ居ルモノニ獎勵補助ヲ與ヘルト云フヤウナ立前ヲ採ラレルコトガ適當デハナカッタカト思フノデアリマスガ、サウシマスル當然補助ノ最高限度七百五十萬ト云フモノヲ相當増額シナケレバナラヌコトニナル、之ヲ増額スルコトガ出來ナイト云フ御答辯デアリマシタガ、今日ノ鐵道財政カラ云ヘバ必シモ私ハ不可能デヤナイト思フ、此七百五十萬圓ヲ動カサナイデ、サウシテ補助ノ年限ヲ延長セラレタ所ニ無理ガアル、ソレハ結局運輸數量云々ノ新シイ規定ニ依ッテソレガ適當ニ調和サレタ、即チ補助ノ總額ハ増額シナクテモ宜イト云フヤウナ工合ニ落著カレタモノト思フノデアリマスガ、ドウシテモ私ハ補助金ヲ増額スルコトガ出來ナカッタ其理由ヲ

同デ置キタイノデアリマス

○喜安政府委員 補助金ノ豫算ハコ、數年來七百五十萬圓ト云フコトデヤッテ來テ居

ルノデゴザイマス、勿論鐵道會計ノ狀態カ

ラ見マシテ、過去ニ於テ、從來多少ノ不均

衡ハゴザイマスノデ、必シモ今日ノ情勢カ

ラ見マシテ、此七百五十萬圓ヲ少シ殖シテ

モ鐵道會計ニ殖スダケノ餘地ガ絕對ニナイ

ト云フコトモ考ヘラレナイと思フノデアリ

マス、併ナガラ一般ニ色々ナ方面ニ實ハ經

費ヲ要スルヤウナ事情デアリマシテ、殊ニ

將來ニ於キマシテハ最近ノ情勢カラ見マシ

テ物價、勞銀ノ高クナルト云フヤウナコト

モ亦頭ニ置イデ置カナケレバナラヌシ、ソレ

カラ又御承知ノ通り國有鐵道ノ線路、建設

物、車輛、其他海陸連絡設備デアルトカ、色

色ナ方面ニ於テ改良ヲ要スルモノガ多々ゴ

ザイマス、ソレデソレ等ノ要求ヲ充タスノ

ニハ相當ノ益金ヲ必要トスル譯デゴザイマ

スルガ、マア出來得ル限り色々ナ方面カラ

儉約ヲ致シマシテ、少シデモ益金ヲ殖シマ

シテ改良ノ方面ニ向ッテ充テ、行カウト云

フヤウナ計畫デ進ンデ來テ居リマス、隨ヒ

マシテ補助金ノ豫算モ成タケ從來ノ程度ニ

止メテ置キマシテ、其止メラレタ七百五十

ヲ廣ク、多數ノ人ノ要求ニ合致スルヤウニ
ト云フ意味合カラ、今回ノヤウナ改正案ヲ
提出シタ次第デゴザイマス

○林委員 營業費ノ査定ニ公式ヲ用ヒラレ

テ居ルガ、此公式ハ私共能ク分リマセヌガ、

現在補助シテ居リマスル地方鐵道ノ實際營

業費ト云フモノガ根據ニナッテ色々ナ點カ

ラ、此公式ガ生レテ來タモノト思フノデア

リマスガ、之ヲ實際ニ適用シテ見マスル

ト、此公式ニ依ル營業費ヨリ少クテ濟ム所

ト、ソレ以上ニ掛ル所アルノデゴザイマ

ス、如何ニ節約シテ見テモドウシテモ此公

式計算額ヨリハ上ニ出ルト云フノガアリマ

ス、是ハドウモ地方的ニ違ッテ居ルノデヤ

ナイカト思フノデアリマスルガ、例ヘバ雪

國地帶或ハ寒地帶ハ特ニサウ云フ計算ニナ

ルノデヤナイカ、北海道ノ地方鐵道ニ付テ

計算シテ見マシテモ、公式計算額ニ對シテ

更ニ一分位上ニ費用ガ掛ッテ居ル、又暖カ

イ地方ノ計算ヲ見マスルト云フト、是ハ私

自ラ計算シタ譯デヤアリマセヌガ、計算シ

タモノニ付テ見マスルト、公式計算額ヨリ

一分位安クナッテ居ル、サウスルト暖イ所ト

寒イ雪ノ多イ所トハ二分ノ開キガアル、ソ

レヲ同一率ニ營業費ヲ公式ニ依ッテ査定サ

レテ、補助額ヲ計算セラレルト云フ所ニ、非

常ニ厚薄ノ結果ヲ生ズルノデハナイカト思

フノデアリマス、此公式ヲ實際化スル爲ニ

雪ノ地方或ハ特ニ燃料等ヲ多ク要スル地方

ト暖カイ地方、或ハ其中間ノ地方ト云フ三

段位ニ分ケテ、サウシテドノ地方ノ鐵

道ニハドレヲ適用スルト云フヤウナ工合

ニ、計算ハ面倒デアリマセウガ、ソレヲ實

際ニ近ヅカスコトガ必要デハナイカト思ヒ

マス、一方假リニ營業費ノ計算ガ少シ違ヒ

マシテモ補助金額ハ非常ニ大キイ違ヒニナ

ルノデアリマスカラ、是ハ補助ヲ受ケマス

會社ニ取ッテハ利害ガ重大デアルノデアリ

マス、此點ニ付テ御考ヲ承リタイト思ヒマ

ス

○前田政府委員 只今林サンノ御質問ハ甚

ダ御尤ナ點ガ多アルト思フノデゴザイマ

ス、唯公式營業費ト云フモノガ何故生ジタ

カト申シマスレバ、ソレハ申スマデモナク御

承知カモ知レマセヌガ、會社ノ決算ヲ其儘

取ルト云フコトニ致シマシテハ、非常ニ節

約ヲシテ仕事ヲシテ居リマスル會社ガ、營

業費ハ少ク掛リ、ドチラカト言ヘバ放漫ニ

ヤッテ居ル會社ガ營業費ガ高ク掛ル、隨テ放

漫ニヤッテ居ル方ガ益金ガ少ナイ、隨テ補助

金ガ殖エル、斯ウ云フ結果ニナルト云フコ

トモ一ツノ理由デゴザイマシテ、公式營業

費ト云フモノヲ決メタ譯デアリマス、隨テ

當然公式營業費ハ會社ノ實際ノモノトノ間

ニ多少ノ喰違ヒガ生ズルト云フコトハ、是

ハ已ムヲ得ナイ點ダト思フノデアリマス、唯

只今御話ノヤウニ會社ノ情況ニ依ッテ、而モ

營業費ヲ同ジ公式ニ當欲メル結果、何ダカ

會社側ノ方ニ放漫ノ點モナク、出鱈目ノ點

モナイニ拘ラズ、計算上デハ非常ニ不利益

ニナル場合ガ、或ハ地方的ニトカ或ハ其同

ジヤウナ環境ノ下ニアリマスル會社ノ方ニ

サウ云フ不幸ト申シマスカ、工合ノ惡イヤ

ウナ事情ガ生ジテ來ルト云フコトハ、洵ニ

其會社ニ取リマシテハ氣ノ毒ト云フコトニ

ナルカモ知レマセヌ、何トカ巧イ方法ガア

レバ公式營業費ト云フモノニ、サウ云フ點

ヲ加味シマシテ考究スルト云フコトガ、

結構ダト考ヘマス、私共ノ方モサウ云フコ

トヲ段々調査サシテ居ルノデアリマスガ、

ドウ云フ範圍ト云フヤウナコトニ關シマシ

テ非常ニ計算ガ面倒ダト云フヤウナ關係モ

アリマスシ、又監督局トシテモ、妥當ヲ調

査ノ結果ヲ得テ居ナイ斯ウ云フ譯デアリマ

ス、御趣旨ハ極メテ御尤デアリマスガ、サ

ウ云フコトガ最モ公平ニ出來レバ、大變結

構ダト考ヘテ居ル次第デアリマス、今後モ

研究ハ進メテ見タイト考ヘテ居リマス

○林委員 其點ハ御研究ヲ願フデ置キマス

次ハ買收法案ニ關聯シテ御伺致シタイト
思ヒマスガ、北海道ノ北海道鐵道株式會社、
此會社ノ經營シテ居リマスル沼ノ端苗穂
間、是ハ兩院ハ通過シナカッタデスケレド
モ、衆議院ダケハ二政府ノ提案ガ通過シタ
歴史モアル、又其後ニ於テ犬養內閣當時デ
アリマスガ、鐵道當局ニ於テハ再び買收計
畫ヲ立テラレタコトモアルノデアリマス、
此鐵道ノ買收ニ付テハ先刻モ堀内サンノ御
質問ノ中ニアリマシヤウニ現在ノ買收價
格ノ規定ニ依ッテハ、建設費ヨリ非常ニ安イ
モノニナリマシテ、買收ノ交渉ガ會社ト折
合ガ付カナカッタ云フヤウニ承ッテ居ルノ
デアリマス、併シ一方會社側カラ直接聞イ
タ所デアリマセスケレドモ、會社側ノ希望
デアルト云フコトヲ承ッテ居ル所ニ依リマ
スレバ、單ニ此會社ハ沼ノ端、苗穂間ヲ經
營シテ居ルバカリデナク、一方ニハ沼ノ端
邊富内間ノ此方モ經營シテ居ルノデブッデ、
將來沼ノ端苗穂間ダケヲ買收セラレデ沼ノ
端邊富内間ヲ殘サレト云フコトニナル
ト、經營上非常ニ困ル、兩方一緒ニ買收シ
テ貰ヒタイト云フナラバ協定ガ付カヌ譯デ
ハナイト云フヤウナ工合ニ言ッテ居ルト云
フコトモ聞イタコトガアルノデアリマス、

ソコデ伺ヒタイノハ鐵道省トシテハ運輸系

絡上現在モ尙ホ沼ノ端苗穂間ト云フモノ、
買收ノ必要ヲ認メテ居ラレルカドウカ、又
一方昨年ノ特別議會ヲ通過致シマシタ日勝
線ト申シマスガ、十勝カラ日高ヲ經テ膽振
ヘ繋グ線デアリマスルガ、此鐵道ノ終點、或
ハドッチガ始點ニナリマスカ決マラナイケ
レドモ、膽振ノ方デハ邊富内トナッテ居ッ
ト思フノデアリマスガ、サウスルト北海道
鐵道會社ノ經營シテ居リマス沼ノ端、邊富
内間ノ私設鐵道ト食ッ付クノデアリマス、サ
ウナルト將來ドウシテモ沼ノ端、邊富内間
ト云フモノハ買收セラレヌト、是コソ運輸
系絡上非常ナ不都合ナモノナルト思フノ
デアリマスガ、是ハ昨年ノ建設線ニ關スル
委員會ニハ出テ居リマセヌデシタガ、後カ
ラ速記録ヲ讀ンダ所ニ依リマス云フト、
是ハ買收スルカ、借入スルカドチラカニナ
ルノデアアル、要スルニ十勝カラ邊富内ニ至
ル線ガ完成シテカラ當然其ニツノ孰レカニ
決定シナケレバナラヌト云フコトヲ言ハレ
テ居ルヤウニ承知致シテ居リマスガ、此ノ
方ハ借入ノ積リデアアルカ、買收ノ積リデア
アルカ、今日尙ホ其方針ガ決ッテ居ナイト云
フコトナラバソレデモ宜シイノデアリマス
ガ、此二點ヲ御伺シテ置キマス

○喜安政府委員 林サンノ只今御話ノ如ク

北海道鐵道ハ沼ノ端カラ札幌、苗穂マデ行ッ
テ居リマスル線ト、ソレカラ一方邊富内ニ
參ッテ居リマス線ト、二ツノ線ヲ持ッテ居ル
ノデゴザイマス、昭和七年ニ沼ノ端、苗穂
間ノ線ヲ買收シヨウト計畫シタコトモ事實
デゴザイマス、當時會社ハ、理由ハハッキリ
私共承リマセヌデシタガ、御斷リシタイ、
斯ウ言ッテ協定ニ應ジナカッタノデ、ソレ切
リニ相成リマシタ、此線ハ御承知ノ通り函
館カラ長輪線ヲ經マシテ札幌ニ參リマス
ガ、岩見澤ヲ通りマスヨリモ此線ヲ通りマ
スル方ガ遙ニ早イノデアリマス、非常ニ短
距離ニ相成リマス、サウ云フ關係カラ致シ
マシテ運輸系絡ヲ整ヘル立場カラ必要ト認
メタノデアリマシテ、今日ニ於キマシテモ
其見解、重要サハ少シモ變ッテ居リマセヌ、
勿論運輸ノ増進ニ伴ヒマシテ其必要サハ増
ストモ減ルコトハナイト云フ風ニ考ヘテ居
ル次第デアリマス、ソレカラ次ニ沼ノ端カ
ラ邊富内ニ行ッテ居リマス線ニ付キマシテ、
昨年ノ特別議會デ邊富内御影間ノ線路ヲ建
設セントシテ追加致シマシタ際ニ、邊富内
カラ沼ノ端マデ行ク北海道鐵道ノ線ハ將來
ドウスル積リカ、斯ウ云フ御質問ガゴザイ
マシタ、ソレニ對シマシテ買收ヲシテ國有

ニ移シテヤルカ、或ハ借上ゲテ運輸連絡ノ

便ヲ圖ルカ、其何レニ出ルカハマダ決ッテ
居ナイト云フコトヲ申上ゲタイト思ヒマス
ガ、其點ハ今日ニ於キマシテモマダ決ッテ
居リマセヌ、唯邊富内、御影間ノ線路ガ段
段工事ガ進捗ヲ致シマシテ、全通ガ近ヅイ
テ參リマスレバ、當然ドッチカニ決定ヲ致
シマシテ、全通ト同時ニ運輸ノ連絡ノ便ヲ
開キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスガ、
マダ全通マデハ少シ時日ガゴザイマスノ
デ、今日ハマダ決ッテ居リマセヌ
○塚本委員 一寸議事進行デ資料ヲ請求シ
タイト思ヒマスガ……
○清瀬委員長 宜シウゴザイマス
○塚本委員 甚ダ恐入リマスガ、昭和十年
度カ、若シ出來マスナラバ十一年度デアレ
バ尙ホ結構デアリマスガ、各地方鐵道ニ補
助金ヲ交付セラレマシタ其會社名ト、其會
社別ニ依ル補助金額ヲ知ラシテ載キタイト
思ヒマス、モウ一ツハ省線ノ既設線ト未成
線ト、ソレカラ豫定線ト、極メテ簡單ナ圖
面デモアリマシタナラバ一應知リタイト思
ヒマス
○林委員 最後ニモウ一點伺ッテ置キマス、
北海道ノ地方鐵道デアリマスガ、壽都鐵道
株式會社、是ハ省線ノ函館本線ノ黒松内カ

ラ壽都へ出テ居ル僅カノ區間ノ鐵道デアリマス、此私設鐵道ヲ敷設スル計畫ヲ立テマシタ際ニ於キマシテハ、現在ノ國有鐵道ノ國縫カラ瀨棚ニ至ル線ガマダ著手シテ居ナイ當時デアリマシタ、所ガ此私設鐵道ヲ建設後、瀨棚線ガ完成シ、一方ニハ既ニ完成シタル小澤、岩内線ガアリマシテ、其中間ニ挾マレテ非常ニ營業ガ苦シクナッテ來タ、此鐵道ハ愈々北海道拓殖費ノ補助ガナクナレバ、到底其經營ガ維持出來ナイノデ、或ハ廢線トシナケレバナラヌ運命ニアルヤウニモ思ハレルノデアリマスケレドモ、其實情ニ於キマシテハ、要スルニ國有鐵道ノ新線開通ニ依ッテ非常ナ打撃ヲ受ケタト云フコトガ事實ナノデアリマスガ、之ニ付テ建設計畫ニ付テモ關聯シテ伺ヒタイノデアリマス、若シモ將來此岩内カラ瀨棚ニ至ル沿岸鐵道ノ建設ヲスルト云フヤウナ必要ガ起リマシタ際ニ於テハ、此壽都線ト云フモノモ非常ニ重大ナ役割ヲスルコトニナルノデアリマス、隨テ此建設計畫ト云フモノハドウ御考メナッテ居リマスカ、ソレガ愈々出來マシタ際ニ於テハ、當然此壽都鐵道ハ買収ヲスベキモノダと思フノデアリマス、又ソレガ出來マセヌデモ、此壽都鐵道ハ要スルニ國鐵ニ對シテ榮養線トシテノ效果ハ確ニ

舉テ居ルノデアリマスガ、其經營ガ困難ニナッテ來タ事情ハ、瀨棚線ノ開通ニ影響スル所ガ大キイノデアリマス、隨テ是ハ運輸系統上カラモ、ソコニ補償カ、或ハ買収カ何トカ適當ナ方法ヲ講ゼラレル必要ガアリハシナイカ、殊ニ沿岸ノ岩内、瀨棚間ノ線ヲ建設スル必要アリトシマスナラバ、當然ソレハ國有トシテ置クベキモノダと思フノデアリマスガ、之ニ付テノ御考ヲ伺ッテ置キタイノデアリマス

○喜安政府委員 岩内、瀨棚間ノ建設線ニ

付キマシテハ、實ハ敷設法ノ豫定鐵道線路ニハ當ッテ居ナイノデアリマスガ、從來度々請願陳情等ガゴザイマシテ、マダ是ハ調査ハシテ居リマセヌケレドモ、將來適當ノ時機ニ調査ヲシテ見タラト云フ考ヲ持ッテ居ルノデゴザイマス、若シ御話ノ如ク、此區間ニ建設線ガ出來マシタヤウナ場合ニ於キマシテハ、壽都鐵道ハ今日カラ見レバ一層運輸連絡ノ上カラ重要性ヲ増シテ來ル譯デアリマス、自然買収、國有移管ト云フヤウナ問題モ起ッテ來ルノデハナイカと思フノデアリマスガ、今日ノ狀態ト致シマシテハ、此狀況ニ能ク似タ線路ハ全國ニ相當數多クアルノデアリマシテ、今日直チニ國有ニ移サナケレバナラヌト云フ程痛切ニ考ヘテ居

ル譯デハナイノデゴザイマス、併シ此線モ段々地方ノ發展ニ連レマシテ、運輸數量モ増シテ參リマシテ、重要性ガ今日ト違ッテ來ルヤウナ時代ニナリマスレバ、假令岩内、瀨棚間ノ建設線ノ問題ガナクテモ亦考慮シナケレバナラヌヤウニナッテ來ルノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○林委員 是デ質問ヲ終リマス

○清瀬委員長 松尾君

○松尾委員 私ハ此補助法ノ條文ノ解釋ニ

付テ、曩ニ委員諸君カラ御質問ガアッテ其御答辯ヲ承ッテ居ルノデアリマスガ、私ハ納得出來マセヌノデ、甚ダ恐縮デアリマスガ御尋致シマス、第一條ノ改正ハ「運輸數量ニ基キ命令ノ定ムル所ニ依リ計算シタル金額ヲ補給スルコトヲ得」ト云フ條文デゴザイマスガ、先刻ノ御説明ニ依リマス、運輸數量ノ少イ地方鐵道、即チ儲カラナイ地方鐵道ニハ、段々補助ノ金額ガ少クナル、甚シキモノハ「オミット」サレルト云フ風ニ聞キマシタガ、サウ云フコトニナルノガ目的ハ何處ニアリマスカ、一ツ聞イテ置キタイと思ヒマス

キ命令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フコトハ、先刻申上ゲマシタノハ極ク平タイ不正確ヲ言葉デアリマスガ、營業費ノ半分ヲ大體補助トシテ支給スルコトニシテ、サウシテソレガ利益ト合シテ四分ニナル程度ニ止メル、斯ウ云フコトガ一番簡便ナ言葉遣ヒダト考ヘマシタノデ、サウ云フ風ニ申上ゲタ譯デアリマス、此營業費ノ半分ト言ヒマスコトハ、結局ソレノ地方鐵道ニ於キマシテ、運輸ノ密度ト云フモノニ依リマシテ、營業費ノ單價ト云フモノハソレゾレ違フノデアリマス、密度ノ淡イ所ハ營業費モ高イ、ソレカラ段々密度ガ濃クナッテ參リマス、營業費ノ單價ト云フモノガ減ッテ參ル譯デアリマス、其違ヲソレゾレニ考ヘマシテ、サウシテ其營業費ノ單價ニ、其處ノ鐵道ノ輸送數量ヲ掛ケル、斯ウ云フコトガ命令デ決メヨウトスル内容デアリマスガ、ソレヲ法律ノ案文ニハ「運輸數量ニ基キ命令ノ定ムル所ニ依リ」ト、斯ウ書イテアリマスガ、之ヲ反面カラ見レバ、結局其鐵道ノ營業費ノ大體半分ニ當ルヤウナ金額ヲ補助トシテ支給スルコトニシテ、利益ト合シテ四分ノ點デ止メルト、斯ウ云フノデアリマスカラ、相對的ニ申シマスレバ運輸數量ノ少イ地方鐵道

ノ貨ヲ補助金ノ額ハ多イ、絶對的ニ申シマ
スレバ少イコトガアリ得マスガ、一面ニ於
キマシテハ利益ト合セテ四分止メルト云
フ點デ、運輸數量ノ多イ所ノ地方鐵道ノ貨
ノ金額ガ必シモ絶對額ニ於テ多イトハ限ラ
ナイト、斯ウ云フ結果ニナルト考ヘテ居リ
マス

○松尾委員 御説明ノ趣旨ハ其點ニ付キマ
シテハ諒承致シマシタ、ソコデ先刻喜安次
官ノ御説明ニ依リマス、此改正案ニ依ッ
テ補助會社ノ範圍ヲ廣メルコトニモ必要ガ
アルノダト云フ御説明ガアリマシタ、百分
ノ五ヲ百分ノ四ニスル、百分ノ一ダケノ金
額ノ範圍ガ廣ガル、然ルニソレダケノ、百
分ノ五ヲ百分ノ四トナサルノモ宜イガ、特
ニ此數字ヲ現ハシタノハ、實ハ其擴大ヲナ
サルノデアルガ、其範圍ヲ擴張サレル點ガ
少シ分リ惡クアリマスガ、其點ヲモウ少シ
承リタイノデス

○喜安政府委員 「運輸數量ニ基キ」ト云フ
是ハ、今監督局長カラ御説明申上デマシタ
如ク、是ハ補助金ノ計算ノ方法ガ從來ト
變タダケデゴザイマシテ、「運輸數量ニ基
キ命令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ風ニ補助
金ノ計算方法ヲ變ヘタコトガ、直チニ補助
ヲ受ケル範圍ガ廣ガル、廣ゲル爲ニ斯ウシ

タト云フ風ニ御取リ下サツテハ、是ハ私ノ言
葉ガ足りナカッタカト思フノデアリマス
ガ、金利モ低下シタ今日、補助ノ五分ヲ四
分ニシテ、サウシテ自然ソコニ餘裕ガ出來
ル、其餘裕ヲ以テ今マデ、例ヘバ開業後十
年經チマシタ後ニハ補助金ハヤレヌコトニ
ナツテ居リマスルガ、サウ云フモノニデモ年
限ノ如何ニ拘ラズ、補助金ガヤレルヤウニ
スルト云フ風ニシタ方ガ宜イ、是ハ大體ノ
コトヲ申上デマシタノデ、決シテ其範圍ヲ
廣ゲル爲ニ「運輸數量ニ基キ」云々ト云フ風
ニ計算方法ヲ變ヘタ譯デハナイノデアリマ
ス、斯ウ云フ風ニ變ヘマシタ理由ニ付キマ
シテハ多分從來、今日カ此以前カニ御説明
申上ゲタコト、思フノデアリマス、サウ云
フ意味デゴザイマスカラ、其點ドウカ御諒
承ヲ願ヒタイ

〔委員長退席、大本委員長代理著席〕

○松尾委員 ソコデ其點ニ付テモウ一ツ御
伺ヒシタイノデスガ、今ノ次官、局長ノ御説
明ニ依リマス、此補助金ノ百分ノ五ヲ百
分ノ四ニシタ爲ニ、殖エル金額ニ依ッテ、補
助會社ノ範圍ヲ廣メルト云フコト以外ニ、
ヤハリ斯ウ云フ條文ノ、運輸數量ト云フ條
文ヲ加ヘラレマシタ爲ニ、弱小會社ニシ
テ、弱小會社ト云フト、少シ言葉ガ惡イカ

モ知レマセメガ、詰リ儲カラヌ會社ナラ儲
カラヌダケ補助ヲ餘計ヤラナケレバナラヌ
ガ、ソレハ絶對的ノモノデナイト云フコト
ハ、今ノ御説明ニ依リマシテ分リマシタ
ガ、サウデスカラ儲カラヌ會社ガ餘計賁ヘ
ナイヤウニ此規定ニアルト云フコトガ堀内
君ニ對スル御答辯ニゴザイマシタガ、一寸
私ハサウ聽キマシタ、少シ私ノ言葉ガ足リ
マセヌカモ知レマセメガ、弱小會社ガ利益
ノ擧ガラヌ會社ハ、擧ガラナイダケ補助ヲ
餘計賁ハナケレバナラヌノデアアルガ、利益
ノ出ナイニ應ジテ、ソレダケ餘計賁フノデ
ナシニ、反對ニ補助金ガ少クナナル、斯ウ
云フコトニナリマス、段々弱小會社ガ
弱ッテ行クヤウナ現象ニナルト思ヒマスガ、
サウ云フコトニハナラヌノデスカ、ソコヲ
少シ分ルヤウニ御説明願ヒタイ

○喜安政府委員 私カラ御説明ヲ申上デマ
シテ、主務ノ監督局長カラ補充シテ戴イタ
ラト思ヒマスガ、今回ノ改正案デ補助金ヲ
計算ヲ致シマスルト、交付スル補助金ノ多
イ少イト云フ問題ハ、二ツノ點カラ影響ヲ
受ケルト思フノデアリマス、ソレハ利益ガ
多イカ少イカト云フ問題、第一ハ補助金ヲ
受ケル會社ノ利益ガ多ケレバ、ソレヲ差引
致シマスカラ補助金ハ少クナル、ソレカラ

第二ノ點ハ運輸數量ガ多イカ少イカ、運輸
數量ガ多ケレバ、是ハ大體ノ傾向デゴザイ
マスルガ、多イモノガ多クナルベキ傾向ニ
ナル、運輸數量ノ點ダケカラ申シマスルト、
詰リ補助金ヲ決メマスルノニ、利益ガ多イ
カ少イカト云フコト、運輸數量ガ多イカ、
少イカト云フコト、此二ツガ影響ヲ持ツ
モノナンデスカ、ソレデ若シ運輸數量ノ
割合ニ依ッテ、補助金ト云フモノヲ決メルト
云フコトニナリマスレバ、運輸數量百ノモ
ノト百五十ノモノトデハ、運輸數量ダケニ
局限シマスレバ一ト一半ノ割合ニ相成ルト
云フコトデアリマスルガ、サウ云フコトハ
鐵道ノ營業ノ實際ニ即シテ考ヘテ見マシテ
モ、妥當デナイノデアリマス、恐ラク此點
ハ御話ヲ申上ゲタコト、思フノデアリマス
ルガ運輸數量ノ一番下ノ段、例ヘバ假ニ百
ナラ百マデノモノニハ、ソレニ掛ケル單價
ハ幾ラカ高クスル、一錢ナラ一錢トスル、ソ
レカラ百以上百五十マデノモノ、其五十
ニ對シマシテハ八厘ヲ掛ケル、或ハ二百マ
デニナレバ最後ノ五十ニ付テハ七厘ヲ掛ケ
ルカト云フ風ニナツテ行キマスカラ、大體
ノ、絶對額カラ申シマスレバ、勿論運輸數
量ノ多イ方ガ、運輸數量ダケヲ見テ考ヘマ
スルト、多クナル譯デアリマス、併シ正確

ニ比例シテハ、殖エナイダラウト思ヒマス、ソレカラモウ一ツソレナラバ、運輸數量ノ多イモノハ餘計賁ヒ、少イモノハ賁ヘナイ——松尾サンノ只今ノ極端ナ御話デハ、殆ド賁ヘナクナルモノガアルデハナイカト云フ、御心配デゴザイマシタガサウ云フトハ、私ハナイト思ヒマス、ノミナラズ一方ニ於テ運輸數量ガ多イト云フコトハ、收入ガ多イト云フコトデアリマス、大體ノ傾向ヲ迪ッ申シマスレバ、又益金ガ多イト云フコトデアリマス、サウナリマスルト、益金ト合セテ補助金ハ四分ト云フコトニ相成リマスレバ、運輸數量ガ多クテ、益金ノ多イモノハ運輸數量ガ少クテ、益金ノ少イモノヨリモ、補助金トシテハ、四分額カラ控除サレル額ガ大キクナリマスカラ、サウ云フ點ニ於テ影響ヲ受ケル、要スルニ此ニツノ方面カラ攻メテ來ル譯デアリマスカラ、サウ單ニ運輸數量ガ多イ少イカラト言ッテ、ソレダケデ非常ニ不公平ナ結果ヲ來スト云フコトハナイダラウト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、ソレカラ尙ホ此機會ニ一言申上ゲテ置キタイト思ヒマスノハ、從來ノ補助金ノ計算方法ハ非常ニ拙イ、拙イト申シマシテハ、面白クナイ點ガゴザイマス、ト言ヒマスルノハ、大體ニマア、公式

ノ營業費ナンカニハ、多少ノ關係ハアリマスルガ、收入ト言ヒマスカ、益金ノ多イ少イト云フコトガ、專ラ補助金ニ影響シテ居リマシタ、所ガ同ジヤウニ半期ニ一萬圓ノ益金ヲ舉ゲマシテモ、非常ニ運賃ヲ安クシテ、社會公衆ニ對シテ便利ヲ供與シテ居ッテ舉ゲル一萬圓モアリマスレバ、非常ニ高イ運賃ヲ取リマシテ、社會公衆ニ割合ニ便利ヲ供與スル點ガ比較的少イト認メラレルヤウナモノデモ、ヤハリ一萬圓ヲ舉ゲテ居ル、詰リ運輸數量ガ少クテ高イ運賃ヲ取ッテ一萬圓ノ利益ヲ舉ゲル、運輸數量ガ多クシテ運賃ヲ安クシテ益金ヲ一萬圓ヲ舉ゲテ居ルト云フヤウナモノ、其兩方トモ益金ハ一萬圓デゴザイマスカラ、賁フ補助金ト云フモノハ外ノ條件ガ同一ナラバ同ジト云フコトニナッテ居リマス、デアリマスルガ今度ノ方法ニ依リマスレバ運輸數量ガ多イ少イト云フコトモアリマスルガ、運賃ヲ下ゲルト云フト或ル限度マデハ運輸數量モ増ス傾向ハアリマスルガ、運賃ヲ下ゲルコトニ依ッテ社會公衆ノ利便ヲ増セバソレダケ補助金ト云フモノニ響イテ來ル、ソレハ補助金ニ依ッテ埋メラレル、斯ウ云フヤウナ利益ガアリ得ルト思フノデアリマス、勿論是ハ絶對ノ問題デハアリマセヌケレドモ、サウ

云フ傾向ニモアリ得ルト云フ、サウ云フ意味カラ致シマシテモ、運輸數量云々ト云フコトハ今度ノヤウニ變ヘタ方ガ適當デアラウト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○松尾委員 サウスルト此補助金ノ、政府ノ補助法ノ精神ハ、鐵道トシテノ公衆ニ與ヘル利益ト云ヒマスカ、利便等ヲ増ス爲ニヤハリ勉強サスト云フヤウナ意味ニ餘程今度ノ改正デハ根據ヲ置イテ居ラレルヤウデスガ、サウ云フ點ハ監督權ヲ持ッテ居ラレマシテ、相當ニ運賃ナリ總テノ公衆ニ對スル施設ハ御命令ガ出來ルヤウニ思フノデス、ソコデ今度ノヤウナ方法ニナリマス、營業ト云フコトガ餘程此補助金ヲ賁ヘル賁ヘスト云フコトノ關係ニナリマス、營業ト云フモノハヤハリ土地ニ依ッテドンナニ良クシヨウト思ッテモ土地其モノガ惡イ所ハ出來マセヌ、土地ノ良イ所ハ勉強セヌデモ出來マス、ソコデ此地方鐵道デ補助ヲ賁ッテ掛ケナケレバナラヌヤウナ所ハ非常ニ便利ノ惡イ所モアリマス、サウ云フトハ全ク色々ナ所謂不公平ナ差別ガ當然アルノデスカラ、ソレニ補助ヲ與ヘルト云フノハヤハリ資本ニ對スル利廻リト云ヒマスカ、サウ云フ所ガ大體ノ押ヘ所デ事業家ハ皆活動シテ居ルモノデス、此鐵道ガ三十萬

圓デ出來ルト云ヘバ、ソレニ對スル建設費ノ百分ノ五ニ當ルモノガ賁ヘルト云フヤウナコトガ皆目安デヤッテ居リマスカラ、私ハ寧ロサウ云フ投資ト云フ方面カラ補助法ヲヤッテ戴クナラバ寧ロ前ノ方ガ宜イト思フ、サウシテ其監督ノ上デ斯ウ云フ細カイ條件ハ御決メニナレバ公衆ニ利便ヲ供與出來ル、非常ニ是ハ無理ヲサスト云フ感ジマスルノデス、斯ウ云フ風ニナル爲ニ勉強セナケレバナラヌ、勉強シテ數量ガ出ル所ハ宜シイデス、相當ノ數量ガ出レバ宜シイデスガ、幾ラ勉強シテモ地方ノ惡イ所ハ出ナイ、出ナイ所ハ益ニ不幸ナ目ニ遭フト云フ風ニ私等ハ此改正ヲ見テ考ヘルノデス、寧ロ元ノ條文ニ於カレテサウ云フ數量ノ點ヲ押ヘテ行クト云フ方面ノ即チ公衆ノ利便ニ供スルト云フヤウナ意味ガアルノデアリマシタナラバ、即チ營業ノ方面カラ補助金ヲ決メラレルト云フ方ガ甚ダ不公平ニ思フノデス、今日マデノヤウニ投資ト云フ資本ヲ下シテ行く者ノ方カラ見マスルトサウ思ヒマスガ、更ニ其點デモウ一過一ツ元ノ狀態ニ置イテ、元ノ補助法デ、唯百分ノ五トアルソレヲ取換ヘルダケデハイケナイモノデスカ、此點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○喜安政府委員 投資方面カラ見テ現行ノ

制度ノ方ガ宜クハナイカ、斯ウ云フ御意見
ノヤウデアリマスガ、其點ニ於キマシテハ
私共全ク同感デゴザイマス、併シ此點ハ多
分前ニ御話ヲ申上ゲタコトガアルト思ヒマ
スルガ、最近數年間ノ狀況ヲ見マスルト、
補助金ヲ交付シマシテ地方鐵道ヲ普及發達
セシメヨウ、言ヒ換ヘマスレバ、補助金デ
利益ノ保證ヲスルカラ鐵道事業ノ方ヘ資本
ヲ投下シテ來イ、ソレニ依ッテ鐵道ヲ普及
サセヨウト云フ意味合ノ補助ト云フモノ
ハ、コ、數年來殆ド效果ガナイヤウニ私共
思フノデアリマス、其原因ハ何レニアルカ
ト云フコトハ、是ハ暫ク別ト致シマシテ、
ドウモ實際サウ云フ模様ガナイノデゴザイ
マス、ト申シマスノハ現ニ五分ノ補助ヲヤ
ルト言ッテモコ、數年來チットモ免許ヲ出願
スル者モ殆ドナイヤウナ狀況デゴザイマ
ス、是ハ最早從來ノ如キ補助制度デ資金ヲ
鐵道事業ニ吸收スルコトノ效果ト云フモノ
ガ期待ガ出來ナイ、斯ウ云フ風ニナッテ來
タコト、思フノデアリマス、ソレデ今回ノ
補助ハ勿論サウ云フヤウナ方面モ效果ハ全
然ナイコトハナイデゴザイマセウガ、今回
ノ改正ノ主眼トスル所ハ主トシテ現在營業
シテ居リマス、又今工事ヲヤッテ居リマス
ヤウナ鐵道ノ所謂運營業ヲ保持シテ社會公衆

ノ公益機關タルノ任務ヲ彌ガ上ニモ能ク發
揮セシメタイ、斯ウ云フ意味合カラ立案サ
レタモノデゴザイマス、ソレデゴザイマス
ルカラ只今松尾サンハ運賃ノコトハ監督權
ガアル、成程地方鐵道法ニハ公益上ノ必要
ガアル場合ニハ運賃ノ變更ヲ命ズルコトガ
出來ル、三錢五厘ノ運賃ヲ三錢ニ下ゲロト
云フコトモ言ヘルヤウナ立前ニハナッテ居
リマス、併ナガラ公益的性質ヲ持ッテ居ル
トハ申シナガラ、鐵道モハヤリ營業トシテ
ヤッテ居ルモノデスカラ、其懷勘定ト云フコ
トモ考ヘナケレバナラヌ、若シ三錢五厘ノ
運賃ヲ三錢ニ値下ゲヲ命ジテ却テ懷工合ガ
好クナレバ結構デスケレドモ、サウ云フコ
トハ多クハ期待ハ出來ナイ、サウスルト三
錢ニ値下ゲヲ命ズレバ社會公衆ハ便利ヲ得
ルケレドモ會社ハ非常ニ困ル、利益ガ減、テ
來ル、減リ放シデ知ラヌ顏ラシテ下ゲロト
云フコトハドウモ實際ノ問題トシマシテ中
中實行ノ出來ナイコトデアル、ソレデ今回
ノ運輸數量ニ依ッテ補助金ヲ計算スルヤウ
ナ方法ニ依リマスレバ、例ヘバ今ノ場合デ
言ヒマスレバ値下ゲヲ命ズル、値下ゲヲ命
ジテ其減收ノ分ハ補助金デ賄ッテ行ケル、
ノミナラズ値下ゲスルコトニ依リマシテ多
少運輸數量ガ殖エレバソレダケ又ハ補助金

ノ増ス方面モアル、斯ウ云フヤウナ利益ガ
アルヤウニ考ヘマスノデ、ドウモ現行法ヨ
リモ今回ノ方ガ時勢ニ適シタ制度デナイ
カ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマ
ス

○松尾委員 御趣旨ハ能ク分リマシタ、ソ
レデ私ハモウ一點御伺シテ見タイノハ、是
ハ先刻林委員カラモ御尋ニナリマシタガ

〔大本委員長代理退席、委員長著席〕

私設會社ハ補助金ヲ百分ノ五ヲ貰ヘレバ百
分ノ五ヲ貰ヘルト云フコトデ起債或ハ借入
金等ヲシテ總テ計畫ヲ立テ、居ルノデス、
何年カ向フニ、ソレガ今度百分ノ四ニナル
ト、餘程影響ガアルノデアリマス、是ハ既
得權トハ認メナイ、是ハ忍ブベキモノダト
思フト云フヤウナ御答辯デアリマシタガ、
一寸其點ニ付キマシテハ、私マダ果シテ既
得權デアリヤ、或ハ又既得權ヲ犯スモノデ
アルトカナイトカ云フ點ニ付キマシテハ研
究致シテ居リマセヌカラ、更ニ研究ノ上御
尋致シタイト思ヒマスガ、是ハ一應御答辯
モアリマシタケレドモ、實情ニ於キマシテ
ハ、各會社ハ非常ニ是ハ計畫ノ上ニ因ル事
ガ起ルノデヤナイカト思ヒマス、差支ノナ
イモノデゴザイマスガ、尙ホ一應此點ヲ
伺ッテ置キタイノデゴザイマス

○喜安政府委員 成程松尾サンノ御心配シ

テ居ラレマス如ク、從來鐵道會社ガ五分ノ
補助ヲ貰ヘルカラト云ッテ、ソレヲ目安ニ致
シマシテ社債ヲ募集スルトカ、或ハ又借入
金ヲスルトカ云フ計畫ヲ樹テ、居ル、ソレ
ガ今回斯ウ云フ風ニ補助率ガ下ルト云フコ
トニナッテハ非常ニ困リハシナイカ、斯ウ云
フ御懸念デゴザイマスガ、ソレハ私共御尤
ト思フノデアリマス、併ナガラ是ハ少クトモ
補助會社ニ付キマシテハ、色々金融方面ニ
モ話ヲ致シマシテ、コ、兩三年來少クトモ
補助會社ノ借入金ノ利息ハ非常ニ下ッテ參
リマシタ、恐ラク下ッテ程度ハ一分ヤソコ
ラデアアルマイト思フノデアリマスガ、是ハ
昭和七年ト昭和十年ニ付テ考ヘテ見マシテ
モ、昭和七年ノ末ノ現在デ見マスルト、借
入金ノ總平均ガ六分四厘ニナッテ居リマシ
タノガ、十年度——十一年ノ三月デスガ、
十年度ノ終リニハ四分八厘ニナッテ居リマ
ス、更ニ之ヲ最近ノ數字デ見マスルト、四
分七厘ト云フコトニナッテ居リマス、約二分
近イ、一分七八厘ノ利息ガ下ッテ居ルヤウナ
狀況ニナッテ居リマス、大體サウ云フヤウ
ナ點ヲ考ヘテ見マシテモ、大局カラ見マス
レバ——差支ナイト云フコトハ如何カト思
フノデスガ、マア已ムヲ得ナイコトデハナ

イカト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○松尾委員 私ハ其點ハ金利ノ利廻カラ考ヘマス、次官ノ御説明ノ通りデ、最近急激ニ金利ガ低下シテ居リマスカラ、十分ノ五ト云フモノハ相當ニ好イ利廻ニナッテ居リマス、唯私ハ法規上サウ云フコトニ觸レテ來ルヤウナコトハナイカト云フコトニ付テ御同致シテ譯デゴザイマス、差支ハナイト云フコトデアリマスレバ、ソレデ宜シウゴザイマス

ソレカラモウ一ツ、是モ先刻林委員ノ御質問ニ對スル答辯ガアツヤウデアリマスガ、十年間ノ滿期モ經過シテ、今日ハモウ補助ノ期間ガ切レテシマッテ、一二年經過シテシマッテ居ルモノモ、矢張此計算ノ下ニ補助ヲ受ケルコトガ出來ルト云フコトデゴザイマスガ、ズット是ハ何處マデ遡ッテ——ソナ以前迄ノモノハナイカモ知レマセヌガ、一二年ト云フコトニ考ヘタラ宜シウゴザイマスケレドモ、モットズット以前迄サウ云フヤウナモノハ廻ルヤウナコトハナイノデゴザイマスガ、一寸其點ノ實情ガ分リマセヌカラ御答願ヒマス

○前田政府委員 改正法ハ開業後十年ノ間ノ補助ニ關シマシテハ、附則ニ依リマシテ

從來ト大體ニ於テ同ジ補助ヲシテ行クト云フコトニナッテ居リマスノデ、隨テ此改正法ノ新シイ第一條ハ、附則ニ依ラナイモノ全部、斯ウ云フコトニナル譯デゴザイマス、十年デモ十五年デモチットモ差支ナイ譯デゴザイマシテ、一定ノ積極的、消極的ノ條件ガ、命令デ決メマシタモノニ該當シマスレバ、補助ヲ受ケル資格ガ出來テ來ル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○松尾委員 モウ一點、私ハ終リニ御同ヲ致シテ置キタイノデスガ、此改正法ニ依リマシテ今日マデ補助金ヲ與ヘラルベキ狀態ニアツタモノガ、全然補助金ヲ與ヘラレナイヤウナ狀態ニナルヤウナ會社ガアリマスカト云フコトガ一點、ソレカラモウ一ツハ、現行法ニ依レバ相當ニ貫ヘテ居ル補助金ガ、今度此改正法ニ依ッテウント金額ガ減ルト云フヤウナ會社ガアレバ、ソレダケラ一ツ同ジ置キタイ、サウ云フ豫想ガアリマシタラ……

○前田政府委員 前ノ方ノ從來補助金ヲ受ケ得タモノガ、今度補助金ヲ受ケ得ナクナルヤウナモノガアルカト云フ御質問ハ、ドウモ御趣旨ガ能ク分リ兼ネマスガ、私共ノ方カラ行ケバ、從來補助ヲ受ケル資格ノ無カッタモノガ、今度新シク補助ヲ受ケル資格

ヲ得ルヤウナ點ガ眞先ニ傾ニ來ルノデアリマス、ドウ云フ御質問デアリマシタカ、能ク分リマセヌノデアリマスガ、ソレカラモウ一ツ、第二ノ方ノ御質問ハ、是ハ減ルコトガ相當アラウト思ヒマス、一部減タト云フコト、ソレカラ現行法ニ於キマシテハ建設費ノ百分ノ五ヲ計算致シマシテ、サウシテ其鐵道ノ益金ガ建設費ノ百分ノ一ヲ超過スル場合ニ、其超過額ヲ百分ノ五ニ依ッテ計算シマシタ補助金額カラ引ク、斯ウ云フコトニナッテ居リマシタノヲ、今度ハ利益額ト合セテ四分トナリマス關係デモ減リマス、ソレカラモウ一ツ運輸數量ニ依ッテ計算スルト云フ點ニ依ッテモ下ル場合ガアリ得ル譯デアリマシテ、三ツ下リ得ル場合ガアル譯デアリマス

○松尾委員 私ノ前ノ第一ニ御尋申上ゲタ點ガ、少シ了解ガ行キニクイヤウデスガ、私ノ言ヒ方ガ惡イノカモ知レマセヌガ、私ノ言フノハ斯ウデス、現行法デ行ケバ、補助金ヲ貰ヘルモノガ、此改正法ニ依ッテ補助金ヲ貰ヘナクナル會社ガ出來ルカドウカ、斯ウ云フ譯デス、現行法デ貰ヘルノガ、斯ウ云フ情勢ニナッタ爲ニ、改正法ノ爲ニ貰ヘナクナル會社ガ出來ルカ、斯ウ云フ譯デス

○前田政府委員 ソレハ場合々々ニ於キマシテサウ云フ場合モ出來テ來ルカト思ヒマス、ト云フ譯ハ、現在區間補助ヲ致シテ居リマス、區間補助デ、非常ニ閑散ナ區間ニ對シテ補助ヲ致シテ居リマスノデ、相當ノ補助ガ行ッテ居ルノガ、今度假リニ全線ヲ新シイ規定ニ依ッテ補助スルト云フコトニナリマス、ソレハ全線トシテハ建設費ノ四分以上ノ利廻ニナル、或ル區間ダケヲ取リマス、ト三分トカ二分トカノ利廻ニシカナラナカッタノデ、其爲ニ現行法ノ補助ヲ受ケテ居リマシタ場合ニ、改正法ニ依ッテ全線ノ補助ト云フコトニナッテ、其全線ノ益金利廻ハ四分以上ニナルヤウナ場合ヲ想像シマス

ト、現行法デハ補助ヲ受ケル資格ガアッデ、改正法デハ補助ヲ受ケル資格ガナイト云フコトニナリマス、場合ニ依ッテ色々ダラウト思フノデアリマス

○松尾委員 私ハ是デ終リマス

○清瀬委員長 塚本重藏君、御質問ガオアリデセウ——塚本君

○塚本委員 私ノ御尋シタイト考ヘテ居リマシタコトハ先ノ質問者ニ依リマシテ大體諒解シマシタノデ、其點ヲ拔キマシテ、第一ニ御尋シタイノハ、建設費ト云フノハドウ云フ方法デ御計算ニナッテ居ルノデスガ、

唯其會社ノ帳簿上ノ建設費ヲ其儘御承認ニ
ナツテ居ルノデスカ、御尋シタイノデス

○前田政府委員 建設費ノ計算ニ付キマシ
テハ現行法ニ於キマシテモ省令デ以テ算出
方法ヲ決メテ居リマス、デ大體ニ於キマシ
テハ其當該地方鐵道ノ建設費ノ決算ト云フ
ヤウナモノヲ基準ニ致シマシテ、建設規程
施行規則ニ依ッテ決メテ居リマス 計算方法
ニ依リマシテ建設費ヲ算出スル譯デアリマ
ス、更ニ此補助ノ場合ニ於キマシテハ、例
ヘバ差當リ要ラナイケレドモ建設費トシテ
計算スルコトノ出來ルモノデアッテ、サウシ
テ現ニ會社ガソレヲ有ッテ居ル、例ヘバ停車
場附近ニ將來ノ非常ナ擴張ヲ見越シテ大キ
ナ土地ヲ買ッテ置イタ、今日ノ規模ニ於テハ
少シモ必要デナイ、併ナガラ將來ノ擴張ノ
見込ト云フ點カラ見レバ建設費トシテ帳簿
ニ整理シテ少シモ差支ナイ、斯ウ云ッタイ
ナモノガアリマス、斯様ナ場合ニハ、正當
ナル建設費デアリマスルケレドモ、ソレヲ
補助ノ場合ニ査定致シマシテ、現在ノ狀況
ニ於テ不必要デアル、單ニ將來ノ備デア
ルト云フヤウナモノヲ査定スルト云ッタイ
ナコトヲ帳簿ニ就キマシテ一々調べマシ
テ、必要ガアレバ現場モ無論検査致シマシ
テ、サウシテ建設費ナリ或ハ運輸收入ナリ、

總テノモノヲ査定致シテ參ル譯デアリマ
ス

○塚本委員 此參考資料トシテ御提出ニナ
リマシタモノヲ見マスト、大體昭和四年、
五年ガ新線開通距離ガ非常ニ多イ年デア
リマシテ、其後昭和六年カラ今日マデ段々新
設線路ガ減少シテ來テ居ルヤウデアリマ
ス、又一方地方鐵道ト云フモノガ國鐵ニ買
收セラレテ行キマス關係カラ、地方鐵道ノ
營業路線ト云フモノガ非常ニ減少シテ居
ト私ハ思フノデアリマスガ、其點ハ——其
傾向ハ如何デアリマスカ

○前田政府委員 御手許ニ差上ゲマシタ資
料ニ依ッテ御分リニナリマスヤウニ、昭和六
年ト云フ年ガ一ツノ轉機デアリマシテ、昭
和五年以前ニハ大體三四百軒ツツ年々地方
鐵道ハ開通致シテ居リマシタ、昭和六年ニ
ハ百何十軒デ、昭和七年ニハ百軒足ラズニ
ナツテ居リマス、是ハ先刻次官カラモ申上
ゲマシタ通り、補助ト云フヤウナコトデ、資
本ヲ鐵道ノ方ニ引付ケルコトガ出來ナク
ナツタト云フヤウナコトモ一ツノ主要ナル
原因デアラウカト思ヒマス、又其外ニ交通
機關ノ狀態ガ非常ニ變ッテ參ッタ、例ヘバ從
來ハ相當ノ距離デ相當ノ分量ノ輸送量ガア
リマス場合ニハ地方鐵道トカ軌道トカヨリ

以外ニハ方法ガナカッタ、近頃デハ自動車ガ
出來マシテ、道路モ自然ニ完備シテ來レ
バ自動車デ行ッタ方ガヨリ經濟的デアルト
云フヤウナ場合モアリマセウシ、サウ云ッ
種々ノ事情ニ依リマシテ、昭和六年ヲ轉機
トシテ斯様ナ結果ヲ來シテ參ッタコト、思
フノデアリマス、尙ホ後デ御尋ノ國有鐵道
ガ地方鐵道ヲ買收スルト云フコトニ依ッ
テ地方鐵道ノ營業料ガ減ッテ來テ居ルカド
ウカト云フコトハ、是ハ正ニ買收シタケハ
減ッテ參ッテ居ル譯デアリマス、唯僅カ
デモ開業ガアリマスダケハ、買收シタモノ
カラ他ノ反面ヲ見レバ、ソレダケ減ッテ居
スウ云フコトニナリマス

○塚本委員 其新線ガ出來マスル長サト毎
年國有鐵道ヘ買收シテ行キマスル軒數ト云
フモノヲ併セテ考ヘマスレバ、大體地方鐵
道ノ營業料數ト云フモノハ減少シテ行ク
デハナイカト思ヒマスガ、其點ハドウデス
カ

○前田政府委員 昭和六年以後ニ於キマシ
テハ大體ニ於テ買收サレマシタ軒數ト、ソ
レカラ新規開業致シマシタ軒數トヲ差引イ
テ見マスト、昭和六年、七年ノ時ハマダ
買收法ノ關係ガ極ク少イヤウナ事情デ響イ
テ居リマセウガ、昭和八年ト昭和九年トノ

狀況ヲ見マスト、昭和八年末ニ於テ營業料
數七千二百七十二軒アリマシタモノガ昭和
九年末ニ於キマシテハ七千二百二十七軒ト云
フ風ニ減ッテ居リマス

○塚本委員 色々ト前ニモ御質問ガアリマ
シタガ、結局致シマシテ、今度ノ改正法ニ依
リマシテ、此補助金額ト云フモノハ殖エル
傾向デアリマセウカ、少クナル傾向デア
リマセウカ

○前田政府委員 個々ノ地方鐵道ニ對シマ
シテハ減ル傾向デアリマス

○塚本委員 個々ノ地方鐵道ニ對スル補助
額ガ大體減少スル傾向アル、今度ノ改正ニ
依ッテ減少スル、更ニ又一方此地方鐵道ノ營
業料數ト云フモノガ減少シテ行ク、此二ツ
ノ傾向ガアルニモ拘ラズ、依然トシテ此七
百五十萬圓ノ豫算ヲ組マシテ居ルト云フコ
トハドウ云フ理由デアリマスカ

○前田政府委員 從來法律ニ依リマシテ補
助ヲ致シテ居リマシタ場合ニハ、大體年
ニ依ッテ多少ノ相違ガアリマスガ、補助ヲ
致シマシタ地方鐵道ノ數ハ約百バカリデア
リマス、百位ノ地方鐵道ニ對シマシテ補助
ヲヤッテ參ッテ居ルノデアリマス、所ガ百ノ
地方鐵道デ満足デアッタト云フ譯デハナイ
ノデアリマス、モット他ニ補助ヲ與フベキ

モノデアルト認メラレマシタ地方鐵道が
アツタ譯デアリマスケレドモ、兎ニ角鐵道
財政ノ都合モアリ、豫算ニ一定ノ限度ガア
リマスル爲ニ、査定ヲ致シマシテ、事情ノ
許ス限り補助ヲ致シテ參ツタ譯デアリマス、
所ガ今度ハ現行法ノ残りガ段々マダ殘ッテ
居ル譯デアリマス、先刻モ申上ガテ居リマ
スヤウニ、開業後十年間ト云フモノハ補助
ノ資格ガアル譯デ、ソレガ段々減ッテハ參
リマスガ、マダ殘ッテ居リマス、其外ニ既ニ
十年以上ノ補助期間ヲ經過致シマシテ、今
日依然トシテ業績ノ擧ラナイト云フヤウナ
地方鐵道ニ對シマシテモ、マダ補助ヲ
與ヘル必要ガアル、斯ウ云フヤウナコトニ
今日ノ事情ガアルト認メテ居リマスルノ
デ、隨テ補助ヲ爲スベキ地方鐵道ガウント
殖エル、斯ウ云フコトガマダ今日ノ實情デ
アルカトモ思ヒマス

○塚本委員 營業料數ガ減リ、一方ニハ補
助額ガ減ッテ行クニモ拘ラズ、豫算面ガ變
ラナイト云フコトハ、結局補助スル鐵道ガ
殖エテ來ルト云フコトニ諒解シテ宜イノデ
アリマスカ——更ニ續イテ御伺致シタイノ
ハ、今日地方鐵道ニ於キマシテハ、鐵道ソ
レ自體カラ言ヘバ、甚ダ面白クナイ成績ヲ
擧ゲテ居ルモノモ多クアルデアリマセウ、

併ナガラ私共主トシテ都會地方ノ鐵道政策
ヲ見テ居リマスルト、鐵道ヲ數クコトニ
依ッテ其事自體デハ餘リ多ク儲カラナクテ
モ、其鐵道ノ沿線ノ地價ガ昂騰シテ來ル、或
ハ又所謂文化住宅地帶トカ云フヤウナモノ
ヲ設ケテ、サウシテ其土地ノ値上リニ依
テ相當ナ成績ヲ擧ゲテ居ルモノガアル、或
ハ又ソレヲ一ツノ利潤ノ目的ニシテ鐵道ヲ
敷設スルト云フヤウナモノガ相當アルヤウ
デアリマスガ、サウ云フモノニ對シテモ政
府ノ方デハ何カ御斟酌ニ相成ッテ居リマセ
ウカ、御伺シタイト思ヒマス

○前田政府委員 其點ニ付キマシテハ、午
前中ドナタカノ御質問ニ對シマシテ御答シ
タコトデ御諒承ヲ願ヘルコト、思フノデア
リマスガ、此改正案ニ、補助ヲ爲スベキ地
方鐵道ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム、斯ウ
云ウコトニ致シテ居リマスル譯デアリマ
ス、其命令ノ案ハマダ省議ヲ決定スル程度
マデニハ行ッテ居リマセヌデ、茲ニ御示ガ出
來ナイノデアリマスガ、大體ノ腹案ト致シ
マシテ、色々項目ヲ考ヘテ居リマスル中
ニ、地方鐵道ノ本業ソレ自體トシテハ非常
ニ收益ガ少クシテ、二分、三分、若クハ零
ノヤウナモノデアリマシテモ、兼業ノ成績
ガ非常ニ優秀デ、常ニ一定以上ノ配當ヲ爲

シテ居ルト云フヤウナ鐵道ニ對シテハ、補
助スベキ限リデナイト、斯ウ云フ風ニ命令
デ決メタイト考ヘテ居リマス

○塚本委員 今日既ニ敷設シテ居リマスル
鐵道、サウシテ從來補助金ヲ出シテ居ッ
タモノヲ、未ダ成績ガ思ハシクナイ内ニ打切
ルト云フコトハ、是ハ事實上出來ナイコト
ダト思ヒマスガ、今後新シク敷設セラル、
モノニ對シテハ補助ヲ與ヘナイト云フヤウ
ニ方針ヲ執ル、其代リニ必要ナ土地ニ對シ
テハ鐵道省自ラガ新線ヲ敷設シテ行クト云
フ方針ヲ御執リニナッテハドウカト考ヘル
ノデアリマスガ、如何デゴザイマセウカ

○前田政府委員 將來敷設ヲ申出マス地方
ニ對シテ補助ヲドウスルカト云フ問題ハ、是
ハ一概ニハ言ヘナイコトデハナイカト思フ
ノデアリマス、場合ニ依リマシテハドウデモ
其鐵道ヲ引キタイ、鐵道省ト致シマシテモ
鐵道ヲ敷設スル理由ガ全然ナイデハナイ、
斯様ニ認メマスヤウナ場合ニ於キマシテ、
或ハ補助ヲシナイト云フコトヲ條件トシテ
其敷設ヲ免許スル、斯ウ云フ場合モアリ得
ルト思フノデアリマス、又事情ニ依リマシ
テハドウシテモ是ハ必要ナ鐵道デアル、併
ナガラ鐵道省デソレヲ引クト云フコトガ直
チニ敷設法ノ豫定線ニ該當シテ居ル場合モ

アレバ、ナイ場合モアル、又同ジ敷設法ノ
豫定線ニ該當致シテ居リマシテモ、大局カ
ラ見レバソレ／＼緩急ガアル譯デアリマ
ス、其緩急ヲヒックリ返シテ敷設スル必要
ハナインデアルガ、此處ニ地方的ノ資本ヲ
以テ其鐵道ヲ敷設スルト云フコトモ交通ヲ
整理スル上ニ於キマシテ非常ニ雙方好都合
デアル、斯ウ云フヤウナ場合モアリ得ルト
思フノデアリマス、サウ云フヤウナ場合ニ
都合好ク行ケバ補助ヲシナイデ済ムコト
デ、是モ雙方ニ都合ノ好イコトデアリマス
ガ、場合ニ依リマシテ補助ヲシナクチャナ
ラヌヤウナ程度ノ業績シカ不幸ニシテ擧ゲ
得ナカッタト云フヤウナ場合ニ、必シモ補
助ヲ排斥スベキモノデモアルマイ、斯様ニ
考ヘマスル譯デアリマシテ、ソレ／＼ノ事
情ニ應ジマシテ、適切ニ補助ヲ決定シテ參
リタイ、斯様ニ考ヘマス

○塚本委員 モウ一點此際御伺シテ置キマ
スガ、此一年間ノ旅客ノ延人員ガ十億人程
アルサウデアリマシテ、其中ノ約半數五億
人内外ト云フモノガ東京ヲ中心トシタ鐵道
ノ旅客デアルト云フコトヲ聞イテ居リマ
ス、而モソレカラ上ッテ來ル旅客運賃ト云
フモノハ、其半數ヲ占メテ居ル東京地方ニ
於テハ二億數千萬圓デアッテ、全旅客收入

ノ一割一寸超エタ位ノ程度ニシカナラナイ、サウシテ其他ノモノハ約半數ノ五億人位ノ地方ノ旅客ガ大部分ノ運賃ヲ支拂ッテ居ルト云フコトガ統計ノ上ニ現レテ居リマシタガ、ソレガ事實デアルトシマス、鐵道運賃ノ上ニ非常ニ考フベキモノガアルンデヤナイカト思ヒマス、鐵道運賃ニ對スル再檢討ヲ爲サツテ、其處ニ大改革ヲ行フト云フヤウナコトヲ御考ニナツテ居リマセデセウカ

○喜安政府委員 只今塚本サンノ御質問ハ國有鐵道ノ旅客デアラウト推察致シマス

○塚本委員 サウデアリマス

○喜安政府委員 私只今正確ナル數字ハ手許ニ持ッテ居リマセデスガ、國有鐵道ノ一年間ニ運ビマスル御客ノ數ハ約十億人ト御覽下サツテ大差ナイト思ヒマス——延人員デヤナク、頭數デゴザイマスガ、其中デ半分ノ五億ガ東京附近ト云フ御話デゴザイマ스가、ドウモ果シテ半分ニナツテ居リマスルカ、ソコノ數ハ正確デアリマセヌガ、東京附近、殊ニ電車區間ニ於ケルオ客ノ數ガ非常ニ多イノデゴザイマス、併ナガラ東京附近ニ於ケルオ客ノ數ハ非常ニ多イノデスケレドモ、其收入ハ非常ニ少イノデアリマス、ト申シマスルノハ、東京附近ノ電車客ノ大

部分ハ、定期客ナンデゴザイマス、定期乗車券ニ依ルオ客デゴザイマス、御承知ノ通り定期乗車券ノ運賃ト云フモノハ、普通ノ運賃ニ較ベマシテ、安イモノデモ五割、ヒドイモノハ六割、七割、殊ニ學生及ビ職工ニ對シマシテハ、非常ニ高率ノ割引ヲシテ居リマスル結果トシマシテ、オ客ノ數ノ割合ニ收入ハ非常ニ少イノデゴザイマス、是ハハッキリ私申上ゲテ間違ッテ居ッテハ困リマスガ、一寸私ノ記憶ニ依リマス、是ハ

東京附近ニ限リマセヌ、全國デ定期乗車券ニ依ル收入ガ二千萬圓位ト思ヒマシタ、旅客收入ハドレ位ニナリマスルカ、三億四五千萬圓ニナリマスルカ、サウスルト丁度其一割ニモ足ラナイ、併ナガラ全國ノ定期ニ依ルオ客ノ數ハ全國ノ十億ノ中デ四五割、四億カ五億ヲ占メテ居ルノデアリマス、サウ云フ風ニ定期ニ依ルオ客ハ、全數ノ半分ヲ占メテ居リマスニモ拘ラズ、收入ハ三億五千ト假定シマスレバ、ソレノ一割ニモ足リマセヌ、七分位ニシカ當ラヌト云フヤウナ狀況ニナツテ居リマス、此意味ニ於キマシテ、運賃ノ構成ニ付テ根本的ナ政究ヲ必要トスルノデハナイカト云フ只今ノ塚本サンノ御話、是ハ御尤ナ點ト思ヒマシテ、私共ノ方デモ從來十分調査ヲ致シテ居ルノデ

ゴザイマスガ、何シロ定期乗車券ヲ値上スルト云フコトニナリマスルト、可ナリ社會大衆ニ大キナ影響ヲ及ボスモノデスカラ、今日マデ尙ホ手ヲ著ケナイデ居ルヤウナ狀況デゴザイマス

○塚本委員 私ノ申上ゲマシタノハ、東京附近ヲ中心トスル定期乗車券ノ利用者、ソレ等ノ者ハ割合ニ乘車區間ガ短イト云フヤウナコトモ今申シマシタヤウニ全旅客收入ノ一割ニシカ達シナイト云フヤウナコトニ

ナツタ原因ダト思ヒマスガ、唯旅客ニ付テサウバカリデナク、隨テ又私ハ東京附近ノ者ノ旅客運賃ヲ引上ゲョト言フノデハナク、ソレヲ考慮シテ、地方ノ方ヲモウ少シ何トカ便宜ヲ圖ッテヤル方法ハナイカ、斯ウ云フコトヲ伺ヒタイノガ主デアッタノデアリマス、殊ニ私ハ旅客ノコトダケ申シマシタガ、貨物ニ付キマシテモ、大體農産物ノ貨物運輸ト云フモノガ約半數ヲ占メテ居ルト思フノデアリマスガ、サウシテ考ヘテ見マス、農村ノ負擔軽減ト云フ意味カラ申シマシテモ、唯旅客運賃ダケデナク、貨物運賃ニ付キマシテモ、鐵道省ハ根本的ニ是ハ緊密ナル調査ヲ遂ゲテ、然ルベキ運賃政策ヲ執ル必要ガアルノデヤナイカ、斯ウ云フコトヲ考ヘマシタノデ、御伺シタノデア

リマスガ、此點ハドウゾ大調査ヲ行ハレマシテ、合理的ナル運賃改革ガ行ハレマシヤウニ御努力ヲ願シマシテ私ノ質問ヲ打切リマス

○清瀬委員長 奥山君

○奥山委員 一寸御尋致シマスガ、第一條ノ所ニ「地方鐵道ノ範圍並ニ前項ノ」云々トアリマスガ、鐵道ノ範圍ト云フノハドウ云フコトデスカ

○前田政府委員 鐵道ノ範圍ト申シマスノハ、午前中ニ御話致シマシタ國有鐵道ト直通ヲヤッテ居ルモノ、或ハ連帶運輸ヲヤッテ居ルモノ、其他産業上非常ニ必要ナルモノ、斯ウ云フコトヲ積極的方面デハ考ヘ得ラレマス、消極的ニハ「ケーブルカー」ハイカヌ、或ハ專用線ノモノニ對シテハ補助ヲシナイ、或ハ只今申シマシタ、兼業デ非常ニ利益ヲ擧ゲテ、年々五分モ六分モ配當シテ居ル者ハイカヌ、斯ウ云フヤウナコトヲ考ヘテ居ル譯デアリマス、ソレヲ施行規則ノ中ニ規定致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○奥山委員 次ニハ第二條ノ「補助金ノ使途ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマス、此補助金ノ使途ニ付テ大體ノ方針ヲ承リタイ

○前田政府委員 其點ハ奥山サンモ御承知

ノコト、思ヒマスガ、近年ハ補助ヲ指令致シマス際ニ、常ニ個々ノ鐵道ニ對シテ、其補助金ヲ最モ有効適切ニ使フヤウナ方法ヲ懇談致シマシテ、補助金ノ指令ヲ出シテ居リマス、ソレヲ法文上ノ根據ヲ求メル、斯ウ云フコトガ主タル目的デアリマス、ソレドウ云フコトヲ規定スルカト申シマス、トスル迄モナク、補助金ヲ最モ優先シテ必要ニ使フト云フコトデアリマス、其次ハ施設ヲ改良スル、サウシテ旅客ナリ貨物ナリニ都合ノ宜イヤウニ色々ナ設備ナリ、設備以外ノ「サービス」ナリヲ致シマシテ、旅客貨物ヲ誘致スルコト云フコトノ爲ニ使フトコトガ當然必要デアリマス、更ニ進シテ借入金ノ利子ニ使フト云フヤウナコトモ其次ニハ必要デアル、斯ウ云フヤウナコトヲ一々順位ヲ決メマシテ、必要ニ應ジテハ御相談ノ上變更スルナリシテ行ク、斯ウ云フヤウナ内容ニスル積リデアリマス

○堀内委員 最後ニ富士身延鐵道、白棚鐵道ノ借上ニ對スルコトニ付テ少シ伺ッテ置キタイ、此兩鐵道ヲ借上ニナリマスニ付テハ、第一ニ、借上ニ付テ何カ建設費ヲ基礎トシタル所ノ交付金カ何カ、借上料ト云フヤウナモノハ必要デアラウト思ヒマスガ、

其歩合ハドウ云フモノデアリマセウカ、第二ハ、各會社ニソレ／＼借入金ナドモアルヤウデアリマスガ、借入金ノ問題ハドウ云フ風ニオ使ヒニナリマスカ、ソレカラ第三ハ、運賃歩合等ハ總テ是ハ省線ト同様ノヤウニ考ヘマスガ、御同様ニ御扱ヒニナルカ、又何カ特例ヲ設ケテ御扱ヒニナリマスカ、ソレカラ第四ニ、富士身延鐵道ニハ附屬事業ガアリマシテ、有賃ノ橋梁ヲ經營シテ居リマシタガ、此前買収ニナリマス時ニモ、二十萬圓カデ御買収ニナルヤウナ御案モアリマシタガ、此附屬事業ノ橋梁ニ對シテハ、ドウ云フ御扱ヒニナルカ、ソレカラ第五ハ是ハ兩會社共通ノコトデアリマセウガ、從來使ッテ居リマス所ノ從業員ノ待遇方法ハドウ云フコトニナルノデアリマセウカ、又從業員ハ今ハ高級ノ支配人トカ、課長トカ云フモノガアリマスガ、今度鐵道省デ御經營ニナリマス時ニハ、ドノ程度マデニ從業員ヲ使フノデアルカ、コ、デ辭メサセナケレバナラヌ會社ノ者モアルト

スレバ、是ハ無論買収ノ前提デアラウト考ヘマスルガ、サウ云フコトニナリマス、ト凡ソ何年間位借上ヲオヤリニナリマシテ、ソシテ其利益ヲ押ヘテ御買収ニナルト云フヤウナ凡ソノ御豫定デアリマスカ、ソレダケ伺ッテ置キマス

○前田政府委員 一番最初ノ問題ハ借上料ノ點デアリマスガ、是ハ實ハ私共ノ方デ富士身延鐵道ト白棚鐵道ヲ借入レヨウト、斯ウ云フ大方針ヲ定メマシテ、鐵道會議ニ諮詢致シマシテ、其決議ヲ得テ居リマスコトハ御承知ノ通りデアリマス、公式ニハソコ迄シカ事ガ運シテ居リマセヌ、是カラ各鐵道會社ニ交渉ヲ致ス順序ニナルノデアリマス、隨テ借上料ニ付キマシテハ、鐵道會議ノ時ニ御説明ヲ致シマシタ通りニ、富士身延鐵道ニ付テハ買収スルモノトシテ、其買収價格ヲ算定シマシテ、其公債發行額ニ相當シマスヤウナ金額ノ三分五厘ト云ヒマス

定致シマシテ、サウシテ其賣却ノ際ニ補償ヲ交付スルモノト云フ假定ノ下ニ計算致シマシテ、其補償金額ノ公債利廻リ三分五厘ヲ借入料ノ基準ト致シマシテ、サウシテソレニ今後營業ノ盛ニナリマスニ伴ヒマシテ、増加シテ參リマス純益ヲ適當ニ増額スル、斯ウ云フヤウナ方針ヲ決メテ居ル譯ナラデアリマス、今後此方針ニ基キマシテ、會社ト協定ヲ致シテ參リタイ、斯ウ存ジテ居ル譯デアリマス

隨テ第二番目ノ借入金ト云フコトニ付キマシテモ、何等今日考ヘテ居リマセヌ譯デアリマスガ、マア筋途ト致シマシテハ、借入金ノ利子ハ省ノ拂ヒマス借入料デ以テ支拂ッテ行ク、財産ハ向フノ財産デアリマスカラ、借入金ノ債務者ハ依然トシテ會社デア

ニ付キマシテハ、鐵道會議ノ時ニ御説明ヲ致シマシタ通りニ、富士身延鐵道ニ付テハ買収スルモノトシテ、其買収價格ヲ算定シマシテ、其公債發行額ニ相當シマスヤウナ金額ノ三分五厘ト云ヒマス

カ、利子額ヲ標準ト致シマシテ、サウシテ年々今後運輸數量ガ殖エテ行キマシタ場合ニハ、其運輸數量ノ増加ニ對シマスル收入ノ増加、隨テ純益ノ増加ト云フモノヲ適當ニ省ト社トノ間ニ於テ分ケテ行クヤウニシタナラバ宜イグラウ、白棚鐵道ニ付キマシテハ、白棚鐵道ヲ賣却ヲ致シマシタモノト假

附屬事業ニモ種類ガアル譯デアリマスノデ、一概ニハ申セナイ譯デアリマスガ、出來得ベクンバ、是ハ會社ノ方デヤルモノハ

ヤルナリ、或ハ廢業スルモノハ廢業スルト云フコトニシテ戴クノガ一番宜イノヂヤナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマスガ、是モマダ交渉ヲ開始シテ居リマセヌ、ドウ云フコトニナリマスカ申上ガ兼ヌル譯デアリマスソレカラ從業員ニ付キマシテ二點御質問ガアリマシタガ、初ノ待遇ト云フコトニ付キマシテハ、是ハ從來トモ買收鐵道ノ場合ニ、買收鐵道ノ從業員ヲ引繼イデ居リマス例ガアル譯デアリマス、大體ハソレニ則テ行クコト、考ヘルノデアリマス、御質問ノ御趣旨ハ能ク分リ兼ヌマスケレドモ、國有鐵道ノ從業員ノ待遇ト、ソレカラ會社ノ從業員ノ待遇トガ非常ニ違ヒマス場合ニ於キマシテ、之ヲ直チニ國有鐵道ノ從事員ニ引繼グト云フコトハ不可能デアラウト考ヘルノデアリマス、ソレカラ一定ノ職務ノ種類ト云フヤウナコトニ付キマシテモ、國有鐵道ノソレノ職務ニ就カセル條件ト、會社ノ條件トガ違ッテ居リマス場合ニ、會社デ或ル職務ニ就イテ居リタカラ、省デモ直チニ其職務ニ就ケルト云フ譯ニハ行カナイカモ知レマセヌ、是ハソレノ規定ナリ、又買收鐵道ノ線路等ニ則リマシテ、適當ナル待遇ヲ致シテ參リタイト考ヘテ居リマス、ソレカラドノ範圍ニ從業員ヲ引繼グカト

云フコトハ、是モヤハリ買收鐵道ノ線路ニ依リマシテ、現場從事員ハ全部引繼グ積リデ居リマス、唯本社員ト云フモノハ、是ハドウナリマスカ、會社ノ方ノ都合デアリマスコノ、私ノ方デ今或ル人間ヲ首ヲ鹹ルト云フコトヲ豫測シテ掛ル譯ニモ行キマセヌシ、本社員ヲドウスルカト云フコトニ付キマシテハ、深ク研究致シテ居リマセヌ、又本社員ト云フモノハ會社ガ解散スルノデハナクシテ財産ヲ省ニ貸スト云フコトデアリマスカラ、本社ト云フモノハアル譯デアリマス、是ハドウ云フ風ニナリマスカ、會社ノ意見ニ從ッテ適當ニ處理サレル譯デアラウト思ヒマス

ソレカラ次ハ買收トノ關係デアリマスコノ、買收ハ必シモ借入ニ依ッテ當然買收ヲスルト云フ風ニマデ考ヘテ居ル譯デハナイノデアリマス、併シ借入ヲ致シマシテ、段段國有鐵道ヲ經營ヲシテ參リマス中ニ、買收スル必要ガ當然濃厚ニナッテ行クダラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、隨テ買收マデノ期間ニ何カノ豫定ガアルカト云フ御尋ニ對シマシテハ、何モナイ、斯ウ云フ御答ヲ申上ゲル以外ニ方法ハナイト思フノデアリマス

○堀内委員 能ク分リマシタガ、一寸只今

ノ御話ニ關聯シテ、借上ニ對スル料金トデモ申シマスカ、御拂ニナル標準モ分ッテ居リマスガ、實ハ富士身延鐵道ハ、此表ヲ見マシテモ、建設費ニ對シテ大體二分四厘幾ラカノ利益ガ舉ッテ居リマシテ、殊ニ昨年ナドハ相當増加シテ居ルヤウニ聞イテ居リマスコノ、サウ致シマスト、大體二分五厘ト押ヘテ五十一萬四千圓ノ利益ヲ舉ゲテ居ル、ソレカラ補助ヲ戴イテ居ルノデスカラ、期限モ近ク切レルヤウナコトデアリマスガ、大體二十萬圓近クノ補助モ戴イテ居リマス、サウスルト之ヲ合セマスト七十一萬四千圓バカリノ一箇年ノ收入ニナッテ居リマスガ、今度ノ三分五厘ヲ買收價格ニ乗ジマシタ金額ト、現在ノ收入トノ差額ハ大體下ノ程度マデ出テ參ルノデアリマセウカ、白棚鐵道ノ方ハテシテ赤字ヲ出シテ利益ハチットモナイノデアリマスカラ、是ハ殆ド標準ニハナラナイヤウデアリマス、ソレカラ只今ノ從業員ノ場合デアリマスガ、本社員ハ會社ノ方ニ殘ッテ居ルカラト云フノデアリマスケレドモ、現在ノ仕事モ鐵道省ノ方ヘ御任セシメシマヘバ、本社員ト雖モ用ハナクナル、ホンノ株式ノ書替トカサウ云フヤウナコトヲヤレバ先ヅ足リルノデアリマスカラ、大部分ノ本社員ト云フモノハ相當罷メ

ナケレバナラスト云フコトニナリマス、併ナガラソレモ已ムヲ得ナイコト、シテ、ソレニ對スル手當等ハ一體會社ノ支辨ニスルモノデアリマスガ、其點ヲ御伺致シマス

○前田政府委員 初メノ御尋ハ借入料ト現在ノ富士身延鐵道ノ利益金トノ關係ガドウナルカト云フ御尋デアリマスガ、大體ノ見當ト致シマシテハ現在ノ利益ガ多クナルト云フコトハ申上ゲテモ宜イダラウト思ヒマス、ト言フ譯ハ其基準ガ買收價格ノ三分五厘ヲ標準トスルト云フコトデアリマスト云フト、現在富士身延鐵道ノ舉ゲテ居ル利益ハ少シハ良クナルト思ヒマス、唯現在買ッテ居リマス補助金ヲ計算ニ入レテ、ドウナルカト云フコトニナリマスト、是ハ借入料ノ基準ノ方ガ少イノデアリマス、茲ニ正確ナ數字ヲ申上ガル譯ニハ行カナイノデアリマスガ、大體ノ私ノ頭ノ見當ヲ申上ゲマスト、サウ云フコトニナルト思フノデアリマス、併シ此借入料ノ中ニ補助金ヲ加味スルト云フコトガ出來ルカ出來ナイカト云フ問題ニナル譯デアリマス、其點ハドウセ會社カラモ話ガ出ルノデハナイカト云フヤウナ想像モ致シテ居リマスガ、是ハ能ク御懇談申上ゲタイト思ッテ居ルノデアリマス、唯先刻モ御話申上ゲマセウニ、借入料ハ公債ノ三分五厘ノ

利子ノ價格ト云フモノヲ基準ト致ス譯デアリマス、其點ハ經營致シマシテ運賃通算ヲ致シマスレバ、旅客貨物ハウント殖エルデアラウト思ヒマス、ソレニ依リマシテ收入モ殖エ、隨テ利益モ増シテ來ルコト、思フノデアリマスガ、其利益ヲ適當ニ借入料ニ附加ヘテ參リマスレバ、大體ニ於テ富士身延鐵道トシテ相談ニ乗ッテ宜イヤウナ金額が出テ來ルノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、只今ノ所ハ色々細目等ニ付キマシテ研究シテ居ル最中デモアリマスカラ、是以上ニ申上ゲル材料ハ實ハ持つテ居ラナイ譯デアリマス、隨テ社員ノ退職ト云フヤウナコトニ付キマシテモ、先刻申上ゲマシタノハ是ハ會社ノ内ノコトデアルカラ、會社デ先ヅ以テ考フベキコトデアルト思フノデアリマシテ、私共ノ方デハマダサウ云フ點ハ研究シテ居ナイト云フコト申上ゲマシタニ過ギナイノデアリマス

○堀内委員 今ノ借上料ノコトデアリマシマス、是ハ會社ヲ辯護スルヤウナ議論ニナリマセウガ、現在補助ヲ二十萬圓カラ貰ッテ居リマス、所ガ此補助ハ一年半位デ十年ノ期限ガ滿ツルノデアリマス、滿ツルノデアリマスルケレドモ、今回ノ改正案ガ實行サレマスト更ニ五分カ四分ニナリマスケレドモ、又五年間延長シテ大分補助ガ戴ケルコトニナルノデアリマス、此鐵道ハ大分長距離ノ間補助ノ恩典ニ浴スルト云フ資格ガアツタノデアリマスルガ、依然一會社二十萬圓ト云フヤウナモノヲ超過スベカラズト云フヤウナ御内定モアルカラ、マダ利益ノ上カラ言ヘバ補助ヲ貰ッテモ宜イ資格ノアル場所モ相當殘ッテ居ルヤウデアリマスガ、今回ノ御趣旨カラ言ヘバ實ハヤハリ下ッデモモット長距離ノモノニ均霑シ得ルノ可能性モアルカノヤウニ私共考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ場合ニ補助ヲ打切ラレテシマツテ、三分五厘ノ公債ガ——買收價額ヲ標準トシテノ金額ガ度ノ程度マデニ達スルカ知レマセウガ、將來ノ收入ノ増加率ヲ適當ニ分割スルト云フ場合ニ於テハ、ヤハリ補助モ御交付ニナルト云フコトヲ御考慮ノ中ニ入レテ戴イテ、其交付ヲ御決定ヲ願ヒタイ、サウ云フ道理デアルベキモノデハナイカト斯様ニ考ヘテ居リマス、私ガナゼサウ云フヤウナコトヲ言フカト申シマスト、此會社ハ實ハ社債借入金等ヲ澤山持つテ居リマシテ、現在モ七十一二萬圓ノ收入ヲ擧ゲテ居ルニモ拘ラズ、配當ハ出來ナイト云フヤウナコトニナツテ居リマス、皆借金ノ利息ヲ拂ッテ居ルヤウナ状態デアリマスル

カラ、會社ハ必シモ利益ヲ得タイト云フ考バカリデモナイノデアリマス、其邊ヲ一ツ御考慮ノ中ニ入レテ御決定ヲ願ヒタイト云フコトヲ、是ハマア御願ヲ致シテ置ク譯デアリマス

○清瀬委員長 佐保君

○佐保委員 私ハ簡單ニ二三御尋シタイト思ヒマス、地方鐵道ヨリ政府ニ向ッテ買收ヲ願ヒタイト云フ陳情請願ガ多數アルヤウデアリマスガ、政府當局ハ此鐵道法ノ第三十條ニ依ッテ、政府ガ公益上必要ナリト認メラレタ場合ニハ買收セラレルヤウニナルコトハ勿論デアリマスケレドモ、何ヲ基準トシテ買收ト云フコトノ御決定ニナルカ、御意向ヲ承リタイト思ヒマス

○喜安政府委員 從來鐵道省デ地方鐵道ヲ買收致シマスル場合ニハ、如何ナル地方鐵道ヲ買收スルカト云フコトヲ決メマス標準ト言ヒマスルカ、目安ニ付テノ御尋デゴザイマスガ、從來地方鐵道ヲ買收致シマスル場合ニハ、先ヅ第一ハ建設線、鐵道省豫算ヲ計上致シマシテ工事ヲ進捗セシムル上ニ付テ必要ナ線——買上ゲテ之ヲ改築シナケレバナラヌト云フヤウナ、サウ云フ建設工事ヲ進メテ行ク上ニ於テ必要ナモノ、譬ヘテ見マスト昨年御協賛ヲ得マシタ長崎

縣ノ鐵道デアルトカ、或ハ廣島縣ニアリマシタ廣瀨鐵道デアルトカ云フヤウナモノ、サウ云フヤウナモノデゴザイマス、ソレカラ其次ハ軍事上ノ必要、此軍事上ノ必要ナント云フコトハ一寸取リヤウニ依リマシテハ尤モナヤウデモアルシ、曖昧ノヤウニモ考ヘラレマスルケレドモ、實ハ軍ノ當局カラ色々戰時ニ於ケル色々ナ作戦ト言ヒマスルカ、サウ云フ關係カラ致シマシテ、斯ウ云フ方面ノ鐵道ノ輸送上相當強化シテ、一旦緩急アル場合ニ支障ノナイヤウニシテ貰ヒタイト云フ註文ガアチコチカラ出テ來ルノデアリマス、サウ云フ場合ニ地方鐵道ガ中ニ在シテ居リマスルト、此地方鐵道ヲ強化シテ——相當巨額ノ金ヲ掛ケナケレバ強化ガ出來ナイノデアリマスルカラ、ソレヲ單ニ地方鐵道デヤレト言ッテモ中々出來マセヌモノデスカラ、サウ云フ場合ニハヤハリ鐵道デ國有ニ移シマシテ、政府ノ手デ強化改良ヲ加ヘル必要ハナイカト云フ譯デアリマシテ、ソレデ第二番目ニ是ハ別ニ輕重ノ問題デハアリマセヌケレドモ、第二番目ニハ軍事上ノ必要、ソレカラ第三ハ運輸系統上ノ必要、此運輸系統上ノ必要ト云フコトモ考ヘヤウニ依リマスルト非常ニ曖昧

デゴザイマスルガ、從來之ヲ理由トシテ買收シテ居リマスルモノハ、例ヘバ省線ト省線ノ間ニ地方鐵道ガ挾ツテ居ル、或ハサウ云フ言ヒ現ハシ方ヨリモ、省線カラ分岐シテ居リマスル地方鐵道ノ其終點カラ省線ガ更ニ工事ヲ始メテ、詰リ省線ト省線トノ間ヘ地方鐵道ガ挾ツテ非常ニ困ツテ居ル、サウ云フヤウナ場合ガ大體普通ノヤウデゴザイマスガ、其爲ニ運輸ノ連絡ノ疏通ガウマク行カナイ、地方ノ人モ非常ニ不便ヲ感ズルシ、鐵道ノ營業上カラ言ッテモ餘リ感服シナイ、斯ウ云フ狀況デアリマス場合ニ、其甚シク極端ニ不便ヲ感ズルモノカラ順次買フ、斯ウ云フヤウナ方針ニ相成ツテ居リマス

○佐保委員 只今當局ヨリ御答辯ヲ戴キマシタガ、此三ツノ條件ニ適合シナイ地方鐵道ハ、將來ニ於テ全然買收ノ恩典ニ浴セヌト云フヤウナコトニナリハシナイカと思フノハ、只今御答辯ノ結果ニ依リマスルト、例ヘバ先達デカラ陳情、請願シテ居リマス島原鐵道ノ如キ、殆ド此三ツノ條件ニ何等當嵌ラナイ、サウスルト將來モ全然買收セラレナイト云フヤウナ結論ニ陥リヤシナイカ、斯ウ思フノデアリマスルガ、ソレハ兎ニ角ト致シテ、北九州鐵道ハ私ハ餘リ詳シ

ク内容ハ知りマセヌガ、兎ニ角長イ間犧牲ヲ拂ツテ漸ク今日利益ノ配當ヲ爲シツ、アルノニ拘ラズ、地方鐵道トシテハ買收ニ應ジタクナイ、何等請願、陳情ヲシナイノニ拘ラズ、政府當局ガ之ヲ買收シヨウト云フコトニナッテ、今回此案ガ出テ居ルヤウデアリマス、然ルニ先達デカラ模様ヲ見マス、政府當局ト地方鐵道ノ當業者トノ間ニ、價額ノ協定ニ多少開キガアリサウナ噂モ聞イテ居リマスルガ、所謂建設費ト三年間ノ平均利益ヲ基礎トシテ、買收價額ヲ御決メニナルト假定致シマス、此北九州ノ鐵道ノ如キ前途非常ナ有望ナ鐵道ニシテ不公平ニ陥ルヤウナ傾ガアリマスルガ、斯ウ云フノニ對シテハ建設費竝ニ三年間ノ平均利益以外ニ、何等カ多少ノ將來性ヲ其處ニ見越シテ、價額ノ上ニ御現ハシナルヤウナ方法ハナイモノデアアルカ、其點ニ對シテ御尋ネシタイト思ヒマス

○前田政府委員 地方鐵道買收價額ノ點ニ付キマシテ先ヅ申上ゲマスガ、御承知ノ通りニ北九州ノ狀態ハ開業後日ノ淺イ線ヲ含シテ居リマス爲ニ、會社ノ方デ甚ダ困ル、計算上不利益ニナッテ困ルト云フヤウナ意見モ最初アリマシタ譯デアリマスガ、併シ買收スルコトハ公益上ノ必要ニ基クノデア

リマシテ、是非本線ヲ買收スルコトガ適當デアルト認メマシタノデ、種々會社ト懇談致シマシタ所ガ、會社モ漸ク致シ方ガナイト云フコトデ買收ヲ承諾致シマシタ、サウシテ買收價額ノ協定ニ付キマシテモ、鐵道省カラ示シマシタ方法ニ依リマスコトノ承諾ヲ得タ譯デアリマス、買收價額ノ協定ハ、是ハ地方鐵道法ノ條項ニ依リマス、先刻モ此處デ朗讀致シマシタ通りニ、建設費ノ以內ト云フヤウナ意味ノ條文ニナッテ居ルノデアリマスガ、然ラバ建設費ノ以內デドウスレバ宜イカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ最モ良イ方法ト致シマシテハ、個個ノ事情ヲ能ク見マシテ、ソレノ鐵道ニ適當ナヤウニ決メテ參ルト云フコトガ宜イカモ知レマセヌガ、中々サウ云フコトハ兎角不公平ナヤウナ結果ニ陥リ易イト云フヤウナコトモ考ヘラレマス譯デアリマス、從來カラソレノ會社ニ取リマシテハ多少ノ幸不幸ガアルカモ知レマセヌガ、建設費ノ金額ト、ソレカラ其會社ノ益金ヲ以テ五分デ還元シタモノトノ和ノ半分ト云フコトデ今日迄參ッテ居ル譯デアリマス、特ニ此北九州鐵道ニ對シマシテ、特殊ノ計算方法ヲ採ルト云フコトハ極メテ困難ナ事デアラウト考ヘマスノデ、其點惡シカラズ御諒承ヲ

願ヒタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○佐保委員 是ハ噂デアリマスガ、兎ニ角北九州鐵道ノ買收價額ハ政府ト當業者トノ間ノ開キガ非常ニ大キイ、然ルニ只今參考書ヲ見マスルト、建設費ガ九百三十一萬六千幾ラ掛ッテ居ルヤウデアリマスルガ、是ト利益金ヲ基礎トシテ買收ノ基礎ニナリマスケレドモ、露骨ニ申シマスルト、政府ハ七百萬圓デ買收シタイト言フシ、當業者ハ一千萬圓デ買收シテ貰ヒタイト云フノデ、長イ間御折衝ニナッテ居ッタト云フ噂ヲ聞イテ居リマスルガ、ドノ程度ニ折合ハレタノデアリマスカ、其點ヲ御漏シ願ヒタイト思ヒマス

○前田政府委員 只今御話ノヤウニ政府ハ七百萬圓、會社ハ一千萬圓、サウ云フ交渉ハ鐵道省ト致シマシテ一回モ致シタコトハアリマセヌ、唯茲ニ此參考書ノ二十頁ニアリマスヤウナ協定ヲ致シタダケデアリマスガ、サウ云フ金融ノ具體的ノ交渉ト云フモノハ、是ハ理窟上爲シ得ナイノデアリマス、買收期日ガ決定致シマシテ、サウシテ其買收期日カラ最近ノ三箇年間ヲ週リマシテ益金ヲ出ス譯デアリマスノデ、今日カラ具體的ニ金額ト云フヤウナコトノ交渉ヲ會社ト致ス譯ガナイノデアリマス、會社ト

ノ協定ハ參考書ノ二十頁ニ書イテアルダケ
ノコトデアリマス

○佐保委員 價額ノ如何程ト云フコトハ勿
論斯ウ云フ風ニ御示シニナッテ居リマス
レドモ、概略算定致シマシテ、ドノ位ト云
フコトノ算定ハ勿論出來テ居ルモノト私ハ
思ヒマス、併シソコハ無理ニ御尋致シマセ
ヌ、ソコデモウツ御尋シタイノハ、若シ
之ヲ買收セラレルト假定致シマス、私實
地ヲ能ク知ッテ居リマスガ、或ハ博多カラ
唐津ヲ經テ伊萬里ヨリ有田、早岐、佐世保
ニ通ズル其線路ノ距離、ソレカラ博多カラ
鳥栖ヲ經、肥前山口ヲ經テ有田、佐世保ニ
至ル線、此兩線ノ比較ヲ御示シ願ヒタイ

○前田政府委員 買收價額ハ先ニ堀内サン
ノ御質問ニ對シマシテ、先刻モ參考表ノ示
ス營業報告ニ基ケバ六百五十萬圓ニナ
ルノデアラウ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノ
デアリマス、是ハ別段秘密デモ何デモナイ
譯デアリマス、ソレカラ博多、佐世保間ヲ申
上ゲマス、博多、佐世保間ハ「キロ」程ニ依
リマス、鳥栖經由ガ九十七粒二、北九州
鐵道線ヲ通ルト九十八粒九、斯ウ云フコト
ニ相成ッテ居リマス

○佐保委員 只今ノ答辯ニ依リマス、殆
ド僅ニ一籽程シカ違ハナイ狀態デアリマス

ルガ、此買收ト云フモノガ公益上必要デア
ルトシテ買收セントスル時ハ、之ヲ拒ムコ
トハ出來ヌトアリマスカラ、是ハ買收ニ應
ジマセウケレドモ、兎ニ角此距離ガ同ジヤ
ウデアラナラバ、先程モ軍事上ト仰シヤッテ
居リマスカラ、露骨ナ話ヲシテ戴ケバ簡單
ニ分ルト思ヒマスガ、佐世保カラ柚木ヲ經
テ伊萬里ニ將來通ジャウト云フ御計畫アリ
ヤ否ヤ、若シアリト假定致シマスレバ佐世
保カラ柚木ヲ經テ伊萬里、唐津、博多ニ通
ズル其距離ハドノ位ニナリマス、ソレヲ
御伺シタイノデアリマス

○前田政府委員 只今ノ所佐世保カラ柚木
ヲ經マシテ伊萬里ニ至リマスヤウナコト
ハ、何モ考ヘテ居リマセヌ、ソレデ軍事上
ト云フ點ハ、ドウ云フ方面カラ申シマシタ
カ、佐世保ト北九州トヲ結ブ爲ニ軍事上必
要ダト斯ウ云フ意味デハナイノデアリマシ
テ、先刻次官ノ申サレマシタヤウナ意味ニ
於キマシテ、此鐵道ガ軍事上非常ニ重大ナ
意味ヲ持ッテ居ルト云フコトハ申上ゲテ宜
イカト思ヒマスガ、其程度以上ドノ程度マ
デ申上ゲルコトガ許サレカ、一寸分リマ
セヌノデ、軍事上ノ點ハ此程度デ御免ヲ蒙
リタイト思ヒマス

○佐保委員 ソレデハモウ一ツ御伺致シマ

スガ、博多カラ北九州鐵道ヲ買收セラレテ、
伊萬里、柚木、佐世保マデ假ニ貫通致シマ
シタトスルト、其距離ト、從來ノ鳥栖經由
ノ距離トノ比較ハドウナリマス

○前田政府委員 マダ調査シタコトガアリ
マセヌノデ、能ク分リマセヌ

○佐保委員 是ハドウシテモ伊萬里カラ柚
木ヲ經テ佐世保ニ直通スルト云フコトガ將
來實現シナケレバ、之ヲ買收スル必要ハ更
ニアリマセヌ、是ハドウ云フ意味ノ買收デ
アルカ、此柚木ヲ經テ佐世保ニ通ズト云フ
ノハ、昨年佐世保鐵道ガ買收セラレテ柚木
マデハ支線トシテアリマスガ、柚木ト伊萬
里ト云フノハ大距離デアリ、之ヲ連絡シテ
北九州鐵道ヲ買收シテ博多ニ直通スル鐵道
ト云フコトニ將來ナルノデ、併シハ能ク
御調ニナッタラ、九十七粒ハ五十何粒ニナ
リハシナイカト思ヒマス、隨テ北九州鐵道
ヲ買收シテ、然ル後ニ伊萬里カラ柚木ヲ經
テ佐世保ト云フ、昨年買收ナサッタ線路ト連
絡ナサッタナラバ、是ハ軍事的ニ非常ニ有用
ナ鐵道トナリハシナイカ、サウ云フコトナ
ラバ多少鐵道營業者ガ反對ヲ唱ヘテモ買收
ヲシテ置クコトガ、軍事的ニ非常ニ急務ナ
リト私ハ考ヘル、此意味カラ買收スルト仰
シヤッテ戴ケバ私ハ能ク分ルト思ヒマス、ソ

レヲ言ハナイト、迂回シテモ鳥栖經由トハ
一籽ノ差デアリマスカラ、買收スルノハ御
無理デハナイカト思ヒマスガ、軍事上ノ問
題、或ハ將來ノ計畫ハ御尋シテモ御答出來
ヌカモ知レマセヌ、希クハ是ハ伊萬里カラ
國見峠ヲ通スカ、或ハ適當ナ方法デ、昨年
買收セラレタ線路ト連絡ヲ取リ下サルナ
ラバ、洵ニ都合ノ好イ線路デハナイカ、斯様
ニ考ヘテ居リマス、私ノ質問ハ是デ終リマ
ス

○片山委員 丁度今九州鐵道ノ話ガ出マシ
タカラ、私モ此點一寸參考書ニ付テ御質問
申上ゲタイノデス、北九州鐵道ノ益金平均
割合概算表ト云フモノヲ見マスルト、昭和
十一年ノ上半期ハ營業費ガ二十四萬三千七
百七圓、サウシテソレニ對スル收益ハ八萬
四千八百圓、利益率ハ一分八厘一八ト云フ
コトニナッテ居リマス、所ガ下半期ニ至ッテ
營業費ト云フモノハ十七萬九千四百八十一
圓ニ減セラレテ居ルノデス、是ハ自然的ノ
現象カ何カノ原因デ上半期ニ比シテ甚ダ減
少シテ居ルノデアリマセウガ、利益ハ逆ニ
約五萬圓殖エテ十三萬四千三百九十五圓、
利益率ガ二分八厘八毛六ト云フコトニナッテ
居リマス、此點ハ前三年ノ利益ヲ加算シテ
買收サレルト云フコトニナルト、非常ナ關

係ヲ持チハセスカト思フノデスガ、之ニ對シテハ餘程御調査ヲナサル必要ガアルノデハナイカト思ヒマス、何トモ御調査ニナラズニ御計上ニナッテ居ルノデセウカ、他ノ藝備鐵道トカ何トカ云フ方ハ前三箇年間ノ計算ガ略、吾々ニ諒承出來ル表ガ載ッテ居ルノデスガ、此點ヲ一ツ疑問ヲ持ッテ居ルノデス、内容ヲ承リタイ

○前田政府委員 此平均割合概算表ト言ヒマスノハ、備考トシテ書イテアリマスヤウニ、會社ノ營業報告書ヲ其儘採ッテアルノデアリマシテ、鐵道省ノ調査ナリ査定ナリハ何等加ハッテ居ナイ數字デアリマスノデ、愈買收致シマス時ニハ會社ニ申シマシテ其三年間、更ニ必要ニ依リマシテハソレ以上前ニ廻リマシテ帳簿ノ調査ヲ致シマスシ、ソレカラ現場ノ検査ヲ致シマス、其上デ其年ノ建設費、收入、營業費、隨テ益金ヲ決メテ參ルコトニナルノデアリマス、此北九州鐵道ノ昭和十一年下半年ニ於キマシテ、益金ノ非常ニ殖エテ居ルト云フコトハ是ハ餘リニモ此表ノ上デハワカシイモノデアリマスノデ、色々一應ハ調べテ見タノデアリマスガ、ドウモ私共ノ方ニ參リマスメノダケデハ其原因ガハッキリ分ッテ居リマセヌ、只今御心配ノ點ハ愈買收ノ時ニ

ハ帳簿ト現場トヲ嚴重ニ検査致シマスル積リデアリマスガ、若シ是ガ間違ッテ數字デアリマスナラバ、其時ニ訂正致シマス譯デアリマス、御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○片山委員 政府ノ御氣持ハ能ク諒承シマシタガ、私共委員ト致シマシテハ此點ヲ十分ニ御吟味ノ上デ買收金額ノ決定ヲ願フト云フコトヲ特ニ此際御願ヲ申シテ置キマス

次ニ御尋致シタイノハ此買收法ニ依リマシテ公債ヲ交付ナサルヤウデアリマスガ、公債ノ交付ハ買收法ニ依リマスルト、五分利公債ヲ交付スルコトニナッテ居ルノデアリマスルガ、昨今ノ公債ハ三分五厘ト云フコトニナッテ居リマスガ、サウスルト、買收價額ニ對シテ一分五厘ノ差ノ現金ヲ増加シテ交付ニナルヤウニナルノデアリマシタガ、此點ヲ一ツ御伺致シタイ

○前田政府委員 此參考書ノ二十三頁ヲ御覽願ヒタイノデアリマスガ、地方鐵道法ハ大正五年以來五分利公債ヲ拂フト云フコトニナッテ居ッタノデアリマスガ、近年政府ノ發行シマスル公債ノ利率ガ段々下ッテ參リマシタニ連レマシテ、結局地方鐵道ノ買收ノ爲ノ交付公債ダケガ五分利ヲ發行スルト云フコトハ權衡上如何カト考ヘラレマスノデ、昭和九年ニ法律ヲ制定致シマシテ、地方

鐵道法又ハ軌道法ニ依ッテ交付シマス買收

公債ニ付キマシテ、五分利未滿ノ國債證券ヲ以テ交付スル場合ニハドウスルカト云フコトノ規定ヲ致シタノデアリマス、其方法ハ二十三頁ニ書イテアリマスヤウニ、五分利ノ國債證券ノ額面金額ヲ時價ニ依ッテ換算シタ金額ヲ、今日ナラバ國債證券ヲ以テ交付スルコト、斯ウ云フ風ナ規定ヲ作リマシタ譯デアリマス、此趣旨ハ申ス迄モナク御覽下サリマセバ御分リニナリマスヤウニ、五分デ貰ッテ公債ヲ賣ッテ場合ト同ジ金額ヲ得ルデアラウト思ハレル三分五厘ノ公債ノ金額ヲ渡ス、斯ウ云フ趣旨ニナッテ居ルヤウデアリマス

○片山委員 能ク諒承致シマシタ、今一ツ御尋致シマス、此事ハ私ガ質問致シマシテ前田監督局長カラ御答辯ヲ得タノデアリマスガ、先ニ次官ノ御説明ノアリマシタヤウニ、鐵道ノ買收ニ對シテハ三ツノ觀點カラ買收ナサルト云フコトニナッテ居リマスガ、私ノ關係シテ居リマス岡山縣ノ中國鐵道ハ三ツノ中ノ第一デアリマスル所ノ建設豫定線デナイト云フコトダケハハッキリ分ッテ居ルヤウデアリマスガ、併ナガラ是ハ建設豫定線ガ出來ナイ時ニ、既ニ鐵道ガ敷設サレテ居ルカラナイノデアリマスガ、次ノ第二

ト第三ノ點ニ對シテハ十分資格ガアリ得ルト信ジテ居リマスガ、近ク買收ヲナサッテ戴キタイト云フコトヲ地方民ハ非常ニ要望シテ居ルノデアリマスカラ、是ガ特ニ實現ヲ希望致シマシテ、私ノ質問ヲ打切りマス

○松尾委員 關聯シテ御尋致シマス、今ノ北九州鐵道ノ利益金割合概算表ノ、特ニ十一年下半年ニ於テ利益率ヲ増シテアルト云フノハ、營業費ガ非常ニ少クナッタト云フ關係デアリマスガ、此點ハ餘リ明瞭セヌト云フ政府ノ御答辯デアリマスケレドモ、一寸七萬五千圓程違ッテ居ルノデアリマスガ、サウスルト中々著シイ點ガアルヤウニ思ハレマスガ、ソレデモ御分リニナリマセヌカ、是ハ少シ義ノ質問デ、異様ニ感ジマスカラ其點ヲ御伺致シマス

○前田政府委員 此點ハ先刻私ガ申上ゲマシタノハ、此概算表ハ本來會社ノ營業報告書ダケノコトデアリマスノテ、買收ノ時ニ、直接利用スルコトガ直ニ出來ルト云フ意味デ、此概算表ヲ掲ゲタノデハナイノデアリマス、御審議ヲ願フ參考上——然ラバ此鐵道ハドノ程度ノ益金ヲ持ッテ居ルノカト云フコトノ御參考ニ供スル爲ニ、一應會社申出ノ儘ニ茲ニ掲ゲタト云フ、斯ウ云フ趣旨ヲ申上ゲタノデアリマシテ、無論正確

ナコトハ會社ニ參ッテ帳簿ナリ現場ナリヲ
検査致シマセスト分ラナイノデアリマス、
十一年下期ガ何故斯様ニ營業費ガ減ッテ益
金ガ殖エタカト云フ問題デアリマスガ、

答申上ゲルノニハ、モウ少シ時期ガ經チマ
セスト、下期ノ統計ガ能ク集ッテ居リマセ
ヌヤウナ次第デアリマス、惡カラズ御諒承
願ヒマス

○清瀬委員長 宜シウゴザイマスカー——私

ソレハ營業ノ色々ナ統計ノ報告期日ノ關
係モアリマシテ、マダ正確ナ種々ノ統計ガ
集ッテ居リマセヌノデ、ソレト互ニ照シ合
セマシテ、此概算ガドウ云フ原因ニ基クノ
デアルカト云フ調査ヲスル域ニ達シテ居リ
マセヌノデ、能ク分ラヌト申上ケタノデア
リマスケレドモ、一ツノ想像ト致シマシテ
ハ昭和十一年上期ノ營業費ガ非常ニ殖エ
テ居ルノデアリマス、是ハ一ツノ特殊ナ事
情デアラウト思ハレルノデアリマスガ、昭
和十一年上期ノ殖エテ居リマスコトハ、車
輛ノ修繕費ガ此期ニ於テ特別ニ多カッタ
云フヤウナコトガ主ナ原因デアル譯デアリ
マス、其他チヨイ／＼上期ノ營業費ガ特ニ
多カッタ云フコトノ原因ガ認メラレル譯
デアリマス、車輛ノ修繕ト云フコトハ、松
尾サン能ク御承知ノ通り毎年々々一定シテ
必シモ支拂ハレルモノデハナイノデ、何年
カヤッテ居ル内ニ時々大修繕ヲヤラナケレ
バナラス、斯ウ云フヤウナ時期ニ十一年上
期ガ際會シテ居ッタノデハナイカ、斯様ニ考
ヘラレルノデアリマスガ、正確ナコトヲ御

一會社ニ對シテ最高二十萬圓程度デアッテ、
成ベク多クノ會社ニ分布スルト云フ御方針
デアッタト云フノデスガ、今度ノハ營業費
ノ半分位ヲ補助スルト云フヤウナ意味ニナ
ルト、ヤハリ一ツ會社ニ對シテハ二十萬圓
以上マデ——例ヘバ多ク補助シナケレバナ
ラヌノデモ豫算ノ關係上二十萬圓程度ニ打
切ル、斯ウ云フコトニナルコトハ舊法ト同
ジデアリマスガ、一寸其點ヲ確メテ置キマ
ス

○前田政府委員 大體ニ於キマシテ今度ノ

計算ニ依リマス、二十萬圓以上ノモノハ
計算上殆ト出テ來ナイノデハナイカ、例外
トシテ一ツ二ツノモノガアルカモ知レヌト
思フノデアリマスガ、所デ從來ノ二十萬圓
ト云フコトニ押ヘマシテ、補助金ヲ決メマ
シタト云フコトハ、御承知ノ通りニ成ベク
此金ヲ外ヘ廻スト云フコトノ爲デアッタコ
トハ、御諒承ノ通りデアリマス、ソレト同
ジヤウナ必要ノ點ヲ申上ゲマス、今回モ

ヤハリ必要ハ同様ガラウ、尤モ其年ノソレ
ゾレノ補助スベキ地方鐵道ノ實情ヲ能ク見
マシテ、或ル地方鐵道ニ全然ヤラナイデ、或
ル一ツノ鐵道ニ澤山ヤッタ方ガ宜イト云フ
場合ガアリ得ルカモ知レマセヌケレドモ、
マアサウ云フコトハ比較的少イ場合デア
ルト思ヒマスノデ、二十萬圓ト云フ額ニ必シ
モ拘泥スルコトハドウカ、從來ハ色々ナ狀
況デ二十萬圓ト云フコトガ凡ソ適當デア
ラウ、斯ウ考ヘテ居リマシタニ過ギナイ譯デ
アリマスノデ、理窟ヲ申セバ、從來五分
デ二十萬圓デアッタノガ今度四分ニナッタ
ノガカラ十八萬圓ニナッテ來ルデヤナイカト
云フコトニモナル譯デスガ、其邊ハ在來ト
同ジヤウナ考ヘ方ヲ致シマシテ、實際ノ狀
況ニ合セテ適當ニシテ行キタイト思ッテ居
リマスガ、二十萬圓ヲ越エルヤウナモノハ
極メテ例外ノ場合ニ想像シ得ルダケダト云
フコトヲ御諒承願ヒマス

○清瀬委員長 モウ一ツ御尋シマスガ、舊

法ニ依ル補助ト今度ノ新法ニ依ル補助トデ
ハ、大分補助シ得ル會社ノ數ハ多クナルト
思ヒマスガ、此處ニ戴イテアル資料ニ依ル
ト、昭和十年ノ補助ヲ受ケテ居ル會社ガ百
四ツダト云フコトデアリマス、十二年ハド
レダケニナルカ知リマセヌガ、無論此新法

ニ依ッテ多少殖エルト思ヒマスガ其比率、
殖エル程度ハドレ位殖エルコトニ相成ルノ
デアリマスガ

○前田政府委員 ソレハマダ正確ニドノ鐵

道ニ新シク補助スベキカト云フコトヲ研究
致シテ居リマセヌノデ、正確ナコトヲ申上
ゲ兼ネマスガ、先般來申上ゲテ居リマスル
ヤウニ、監督局デ補助ノ申請ノアリマシタ
モノヲ一渡リスト調ベマシテ、サウシテ
大體百六十バカリ選擇致シマシテ、其計算
ヲシテ見マス、八百六七十萬圓見當ニナ
ル譯デアリマスノデ、百六十八行ケマセヌ
ノデアリマスガ、大體其近クマデ行クコト
ガ出來ルノデハナイカト、斯様ニ考ヘテ居
リマス

○清瀬委員長 ソレカラ、是ハ問題ガ違ヒ

マスガ、先日下ナタカノ質問ニ對シテ私設
鐵道ト省線トノ連絡切符ヲ發行シタラバ大
變私設鐵道ノ爲ニ都合ガ好クナリハシナイ
カト云フ質問ニ對シテ、連絡切符ニスルト
非常ニ安クナルカライケナイト云フ御話デ
アッタト思ヒマスガ、此私設鐵道ノ運賃ハ今
ノ運賃、若クハ今ノ運賃ニ近イ運賃ニ据置
イテ、ソレニ省線ノ運賃ヲ加ヘルト云フヤ
ウナ方法ニ依ッテ連絡切符ヲ發行スルト云
フコトニナサツタラバ、私設鐵道モ餘リ

金ヲ使ハナクテ、私設鐵道ノ補助ニモナルト思ヒマスガ、サウ云フコトハ出來ナイモノデアリマセウカ

○前田政府委員 先般ノ堀内サンノ御質問ノ趣旨ハ御承知ノ通りニ、日本ノ國有鐵道デハ遠距離遞減法ト云フ運賃制度ヲ採ッテ居ルノデアリマス、隨テ遠方ニ參リマスニ伴レテ料當ノ運賃ガ段々下ッテ參ル勘定ニナルノデアリマス、ソレデ地方鐵道ト國有鐵道ト連帶致シマス場合ニハ、地方鐵道ハ地方鐵道ノ運賃、國有鐵道ハ國有鐵道ノ運賃ヲ計算致シマシテ、ソレヲ加算シマシテ旅客カラ貰ッテ居ル、斯ウ云フコトニナッテ居リマスルノヲ、遠距離遞減法ノ、何ト申シマスカ、其範圍ノ中ニ一緒ニ入レテシマッテ運賃ヲ計算スル、サウシテ後デソレヲ省社ガ割賦スル、斯ウ云フコトニナレバ非常ニ宜イデヤナイカト云フ御質問デアリマシテ、是ハ極メテ御尤ナコトデ、昨年モ同様ナ御話ガ何カノ節ニ出マシテ、鐵道省ト致シマシモ研究致シテ居ルノデアリマス、所ガサウ云フコトニ致シマス結局、極端ナコトヲ申シマス社線ノ距離ガ非常ニ短クテ、省線ガ長イヤウナ場合ニハ、省線ノ方カラ申シテ見マス、向フノ方ハ唯見タヤウナコトニナル譯ナンデアリマシテ、割賦率ト

云フコトガ非常ニ問題ノ一ツトシテ重要ナンデアリマス、適當ナ割賦率デ省社ヲ分ケ合ッテ、而モソレガ公正デ理窟ガ立ツ、斯ウ云フヤウナ旨イ率ハナイカ、斯ウ云フ問題デアリマス

○清瀬委員長 分リマシタ、ソレデハ此二案、横莊鐵道外三線ノ買収案、地方鐵道補助法ノ改正案ニ對スル質問ハ大體是デ終ック譯デアリマス、懇談ヲシタイト云フ御希望モゴザイマスカラシテ、本日ハ此程度デ散會致シマシテ、若シ事務局ノ方ノ都合ガ付クナラ明後日朝十時カラ開會シタイト思ッテ居リマス、本日ハ是デ散會致シマス

午後四時四十八分散會

昭和十二年三月二十日印刷

昭和十二年三月二十一日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社